

同志社大学 経済学部 御中

---

# 2021年卒 採用序盤の動向と今後の見通し

株式会社マイナビ  
就職情報事業本部  
2020.5.21

# はじめに

---

本資料はインターンシップ期間の振り返りと広報開始直後の動向をまとめたものとなり、あくまで弊社がお取りしたアンケートを主軸としております。

特に3月の広報開始以降のデータに関しては、4月中旬までの企業アンケートと4月末頃までの学生アンケートを元にしております。

しかし新型コロナウイルスの感染拡大防止策を受けた採用活動/就職活動の動向は刻々と変化しておりますのでご了承ください。

# アジェンダ

---

1. 広報活動開始前までの状況
2. 3月開始直後の状況
3. 今後の見通しと対策

# 01

## 広報活動開始前までの状況

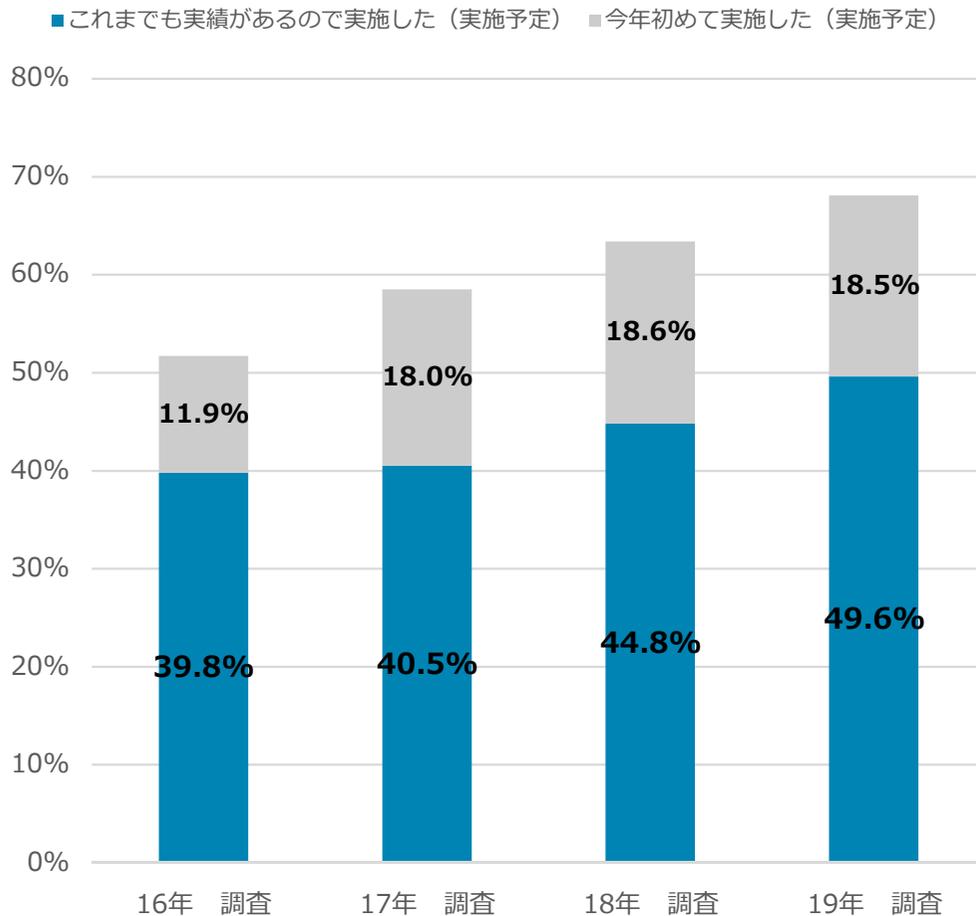
---

# 企業 インターンシップ実施率

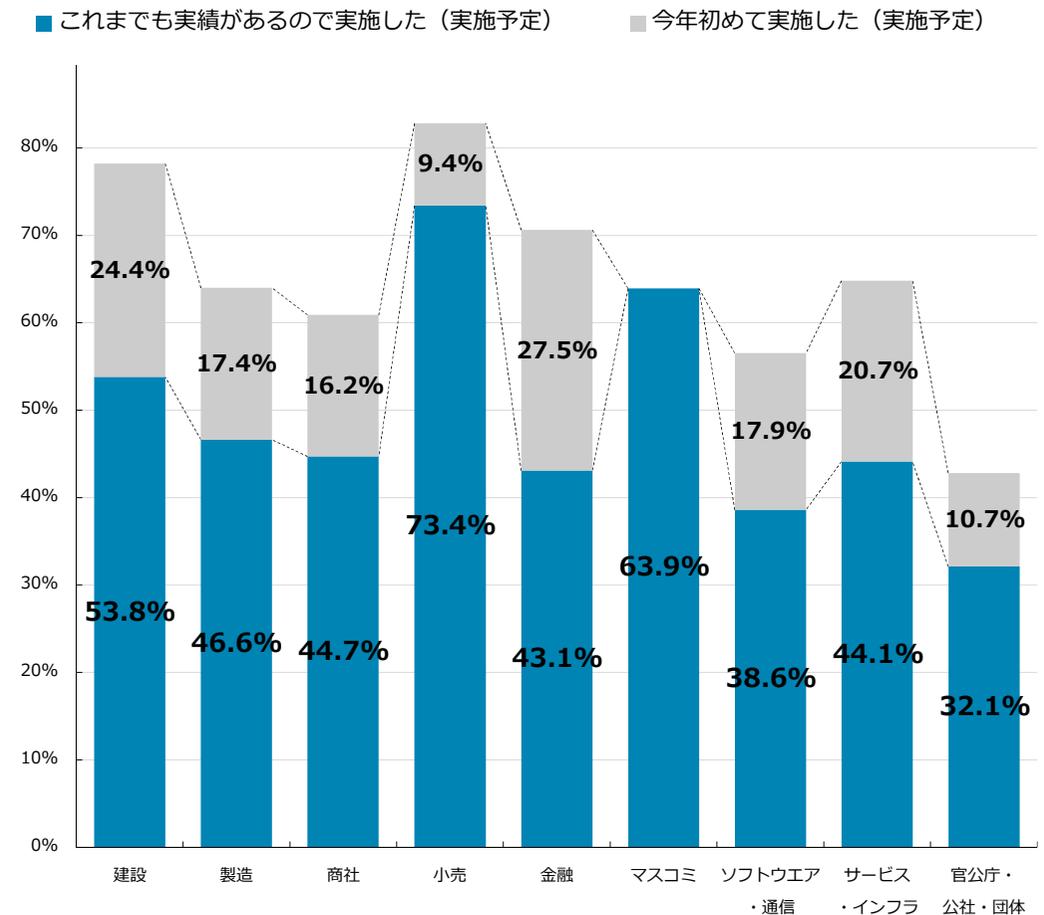


インターンシップ開催比率は、**年々上昇傾向。**  
特に建設・小売など、近年採用意欲の高い業界ほど導入している傾向。

## ■この夏もしくは秋以降にインターンシップを実施したか・今後実施するか



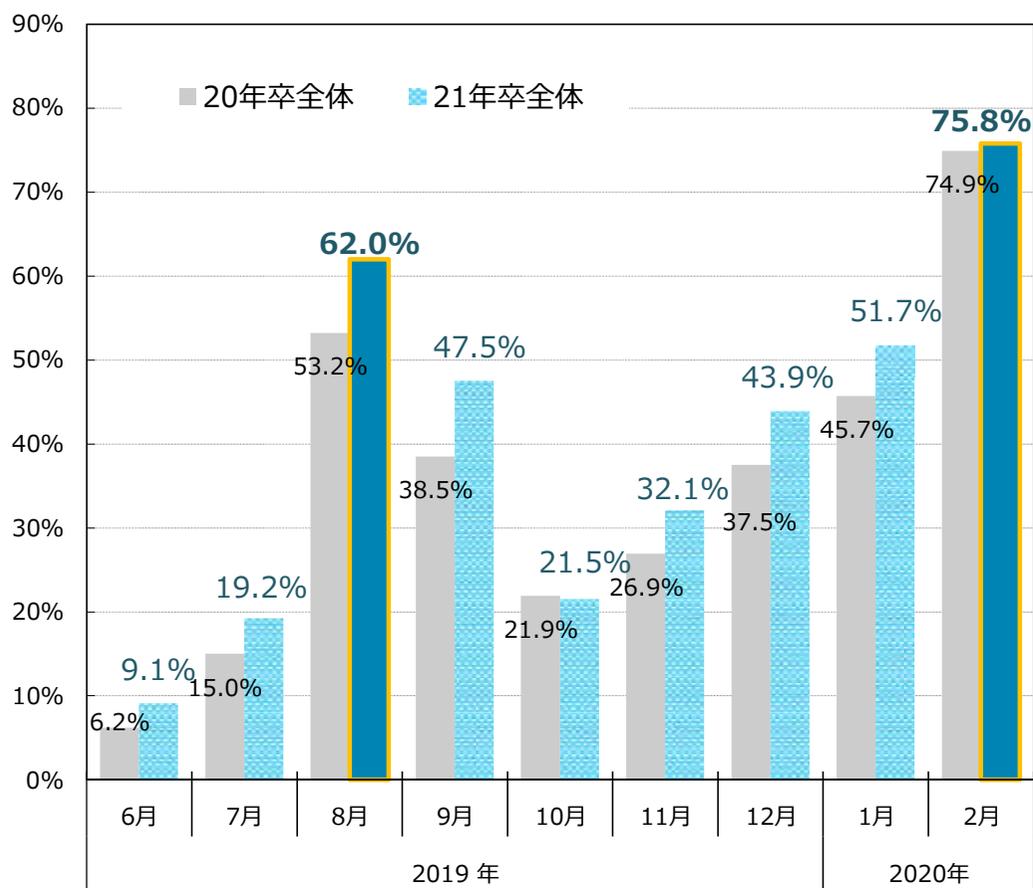
## ■業界大分類別実施状況



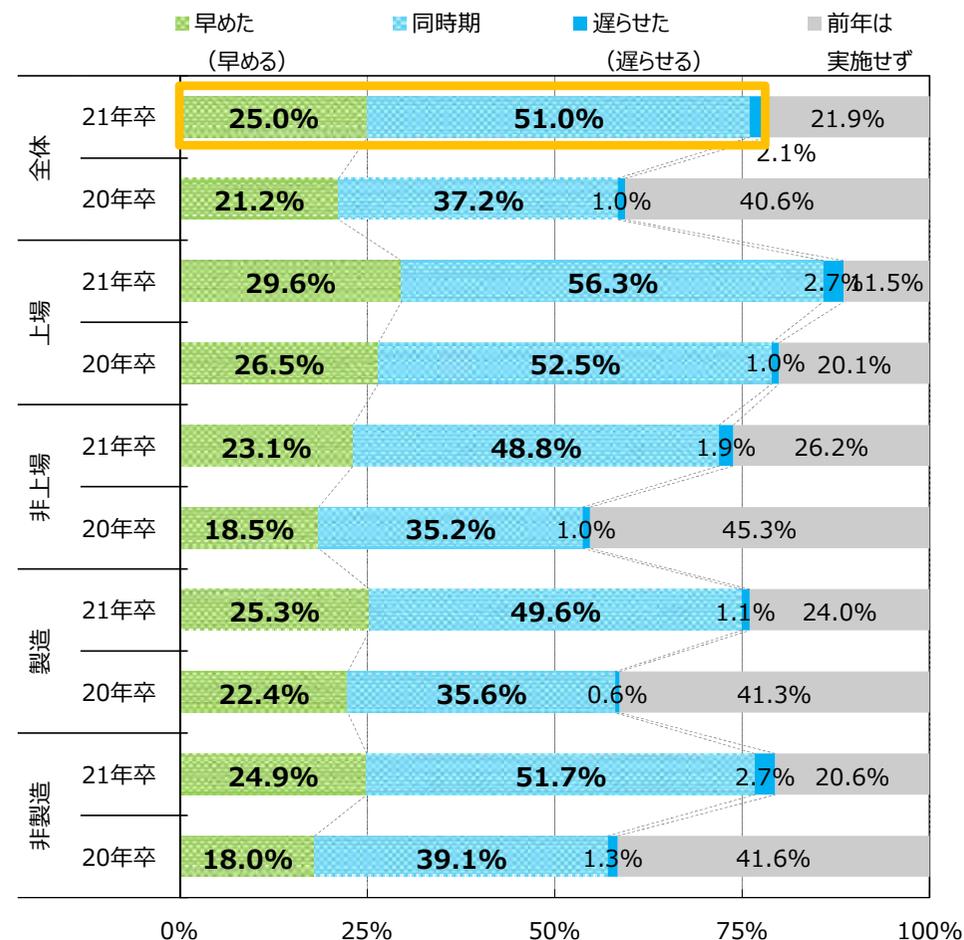
# 企業 インターンシップ開催時期

インターンシップ開催は、全体で約8割の企業が「早めた」または「前年同時期」。  
8月と、広報解禁直前の2月が開催のピークに。

■ インターンシップを実施した月



■ インターンシップ応募受付開始時期

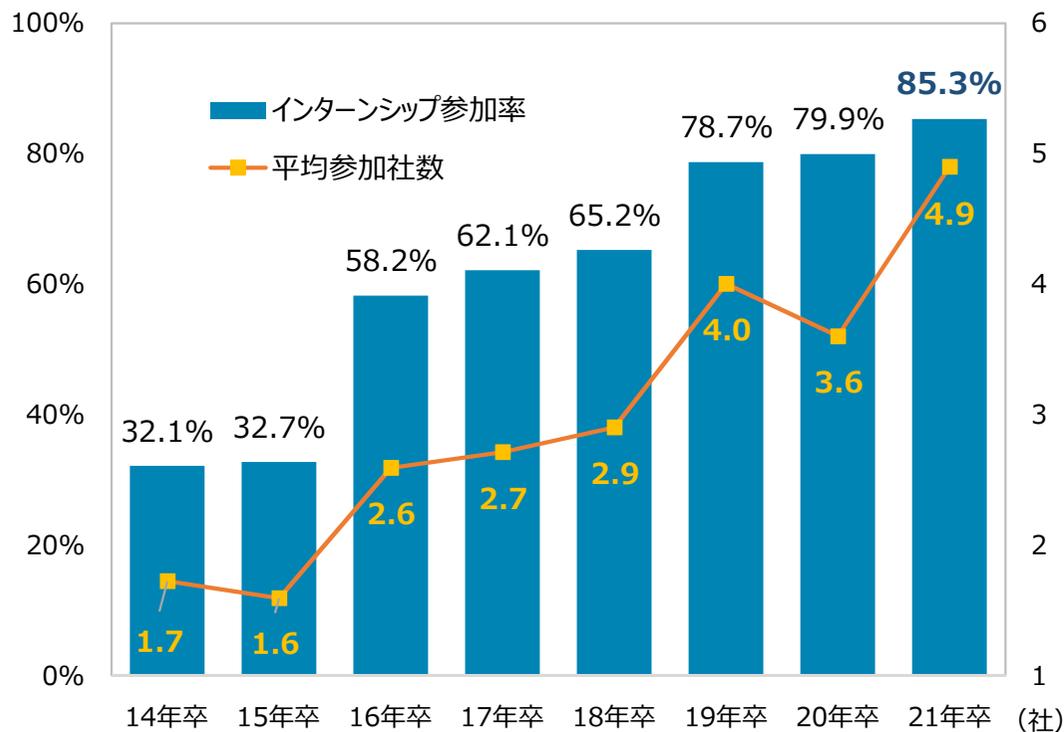


# 学生 インターンシップ参加状況

85.3%の学生がインターンシップに参加。20卒に比べて6.4ptの大幅増。

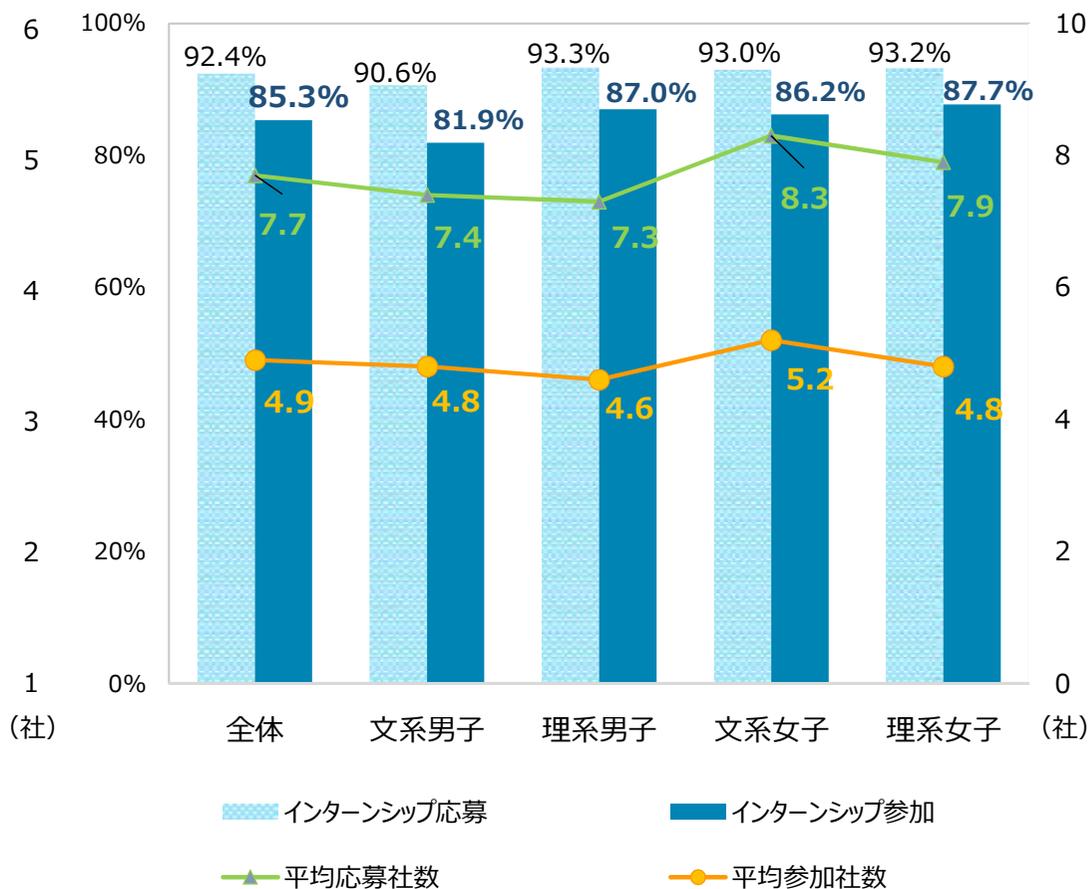
「応募した」人も含めると9割以上が、インターンシップ参加への意識を持っている。

■ インターンシップ参加率と平均参加社数



※14、15年卒は11月に調査を実施

■ インターンシップ応募割合・参加割合

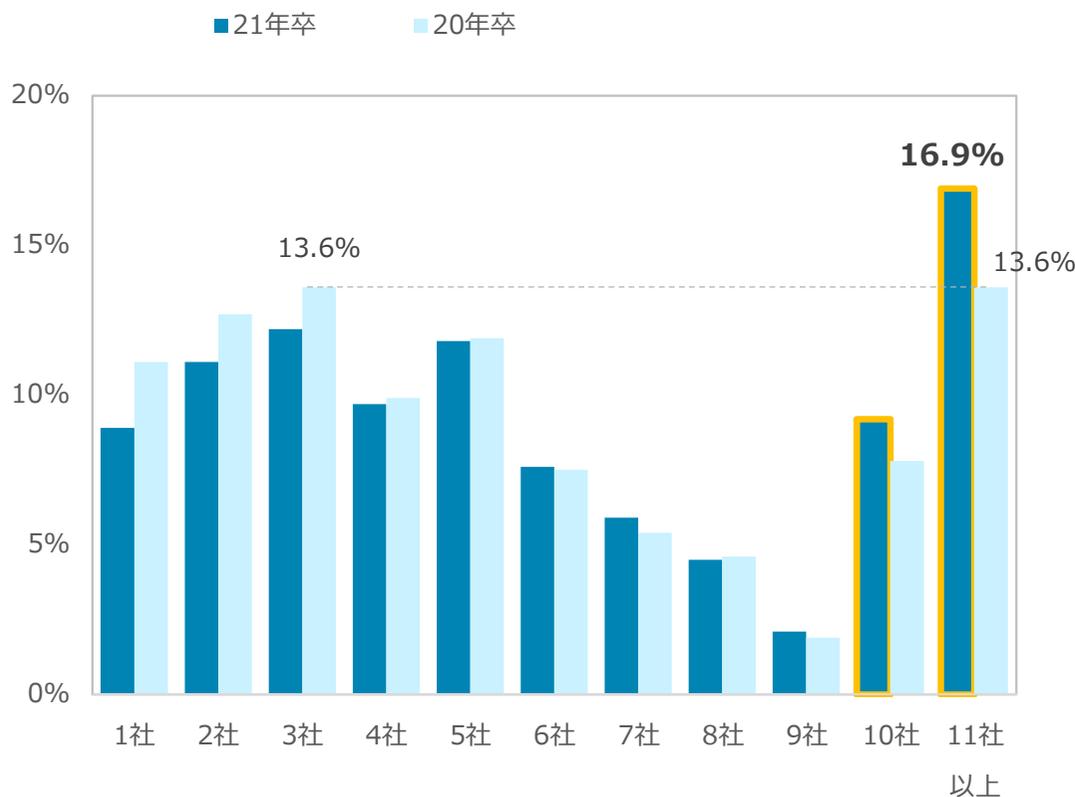


# 学生 インターンシップ参加状況

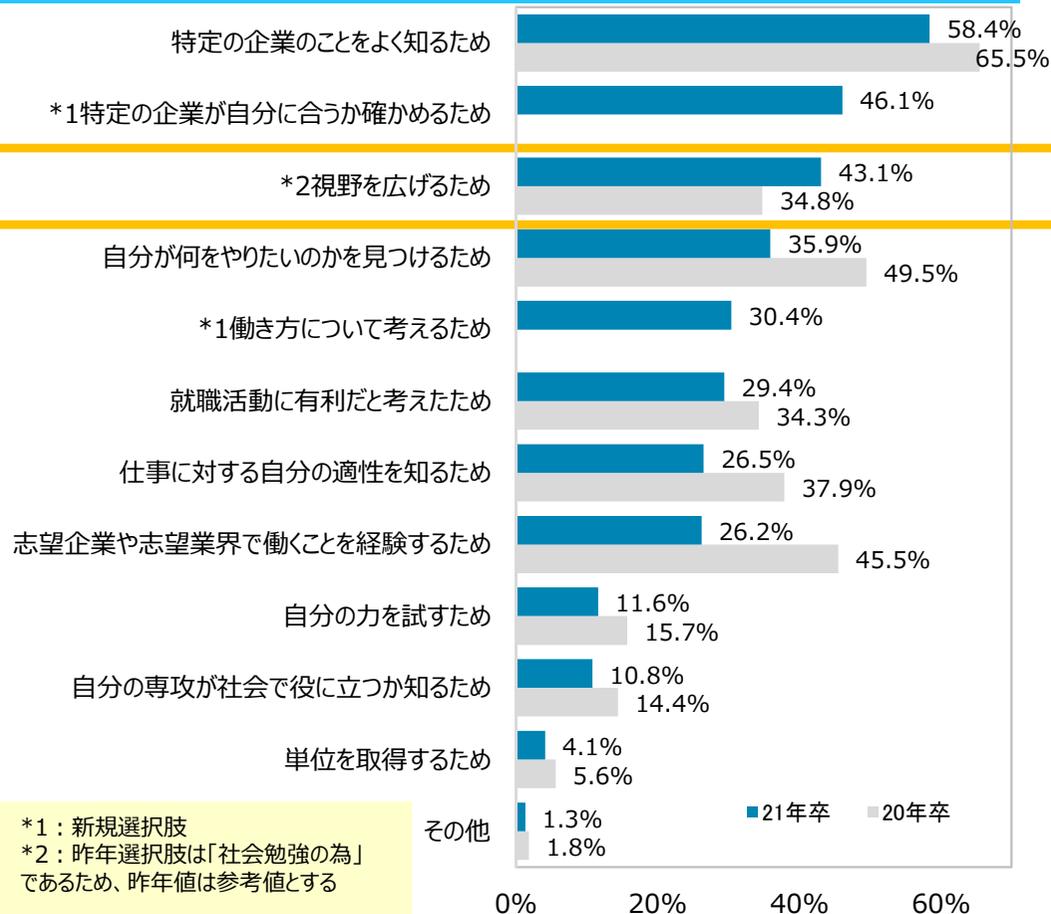


「10社以上」が増加し、76%が9月以前より参加。**目的として「視野を広げる」が増加。**  
 多くの企業のインターンシップに夏から参加し、自分に合う仕事を探したいという意思が伺える。

## ■ インターンシップ応募割合・参加割合



## ■ インターンシップに参加した目的



## インターンシップの効果

インターンシップアワードにて提言された「インターンシップが学生にもたらす効果」主に以下の5つ

### ① キャリアの焦点化

興味のある業界・企業・仕事内容のイメージが明確になり、やりたい事がわかってきた

### ② キャリアの展望化

これまで知らなかった業界・企業・仕事内容を知り、興味の範囲が広がった

### ③ 人的ネットワークの認知

就職活動を上手く進める為に、周囲の人々との関係性を上手く構築して行こうと考えるようになった

### ④ 就労意欲

働く事に対する意欲が高まったり、社会人になる準備・覚悟ができた

### ⑤ 自己理解

自分の強みや弱み・足りない能力を把握する事ができた

うち①②③④の4つの効果に インターンシップに参加した企業への志望度との相関関係に有意性が認められた



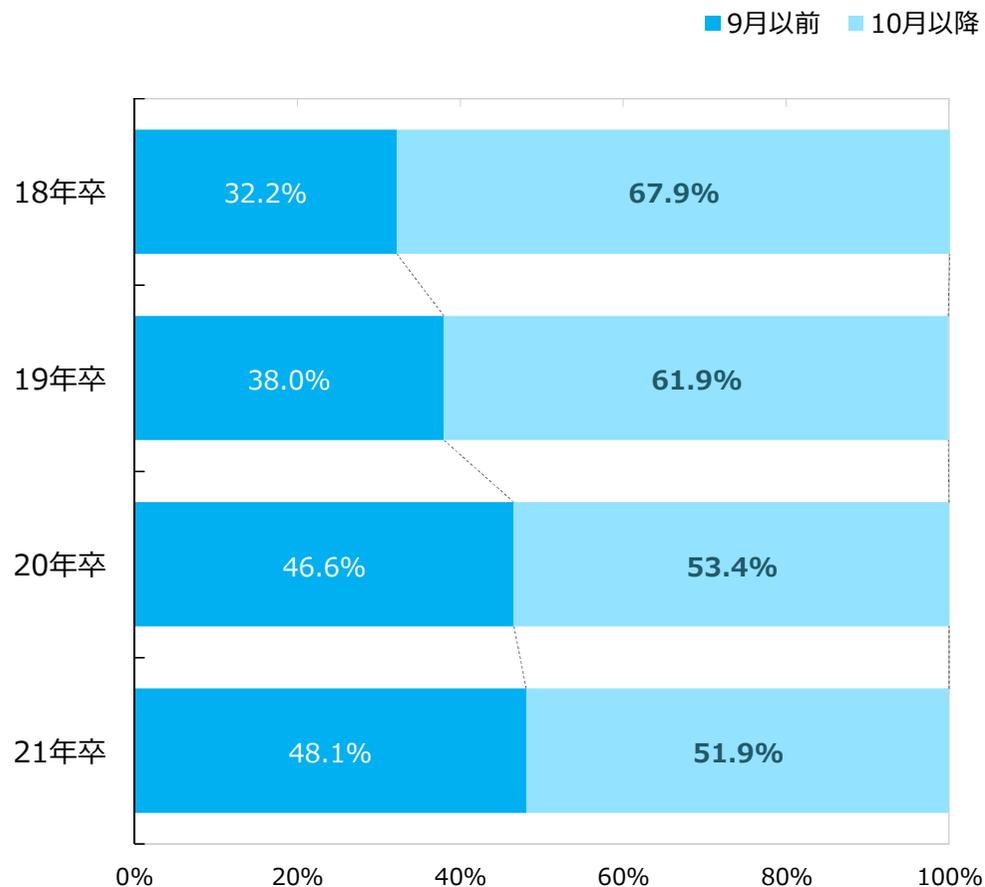
インターンシップがもたらす効果のうち下記の4つが志望度向上に寄与

①キャリアの焦点化 ②キャリアの展望化 ③人的ネットワークの認知 ④就労意欲

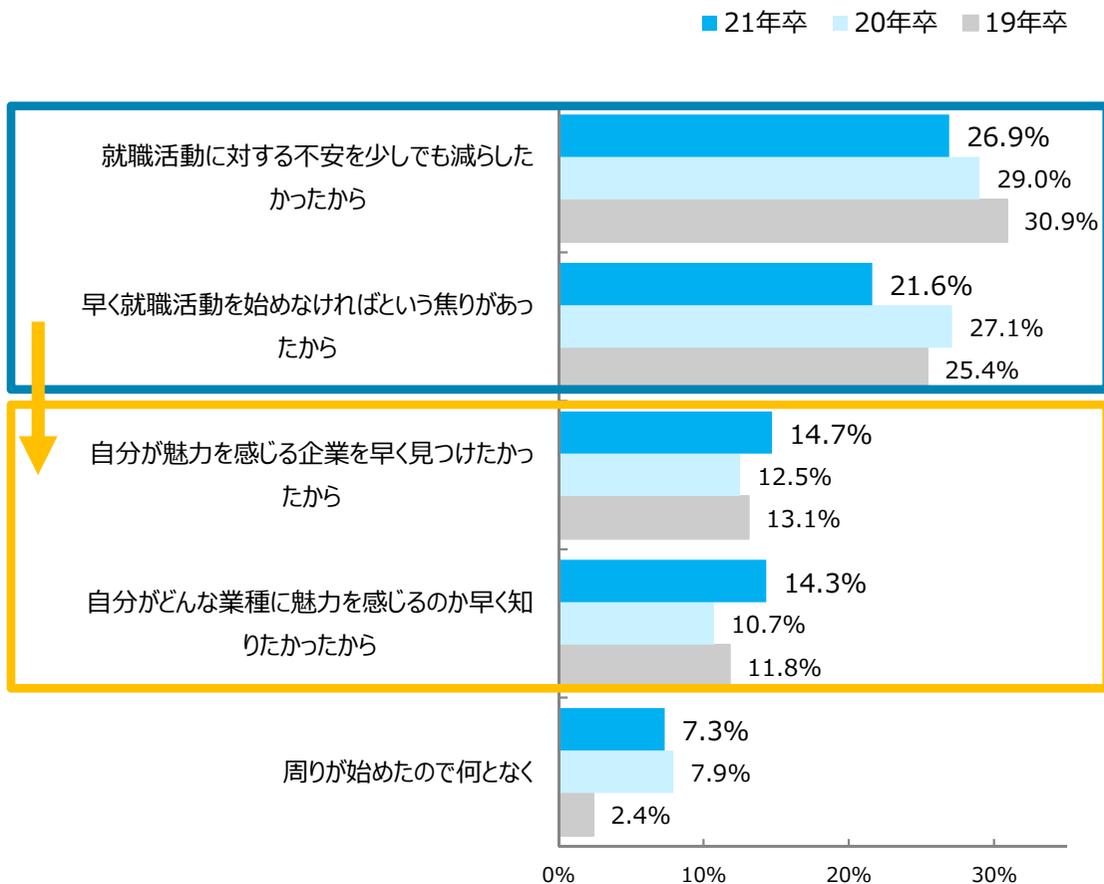
インターンシップ“以外”の就活準備開始時期も、より早期化。

2月売り手市場を背景に最良の企業を見つけるアクションを積極的に行っていた。

■ インターンシップ以外の就職活動準備の開始時期



■ インターンシップ以外の就職活動の準備を行った理由



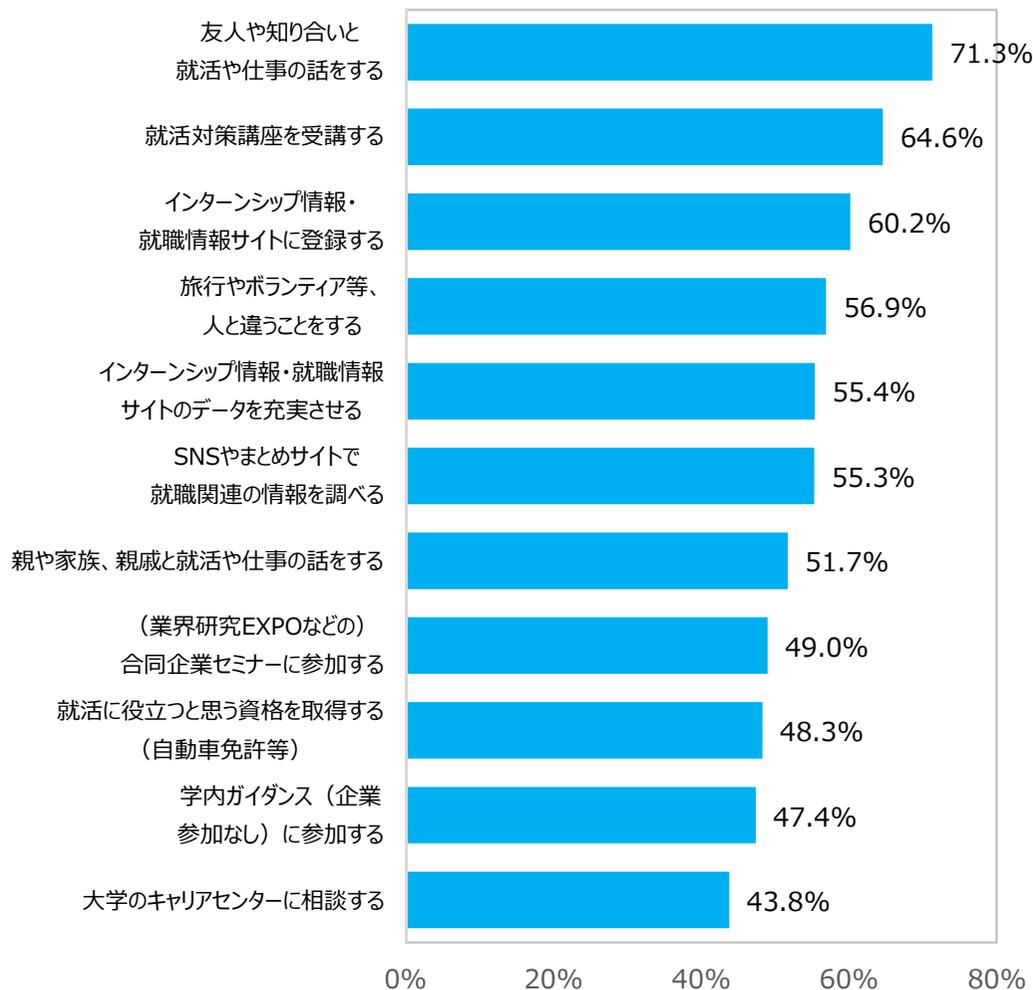
出所：2021年卒マイナビ大学生広報活動開始前の活動調査（2月1日～13日実施 n=5,794）

# 学生 インターンシップ以外の準備

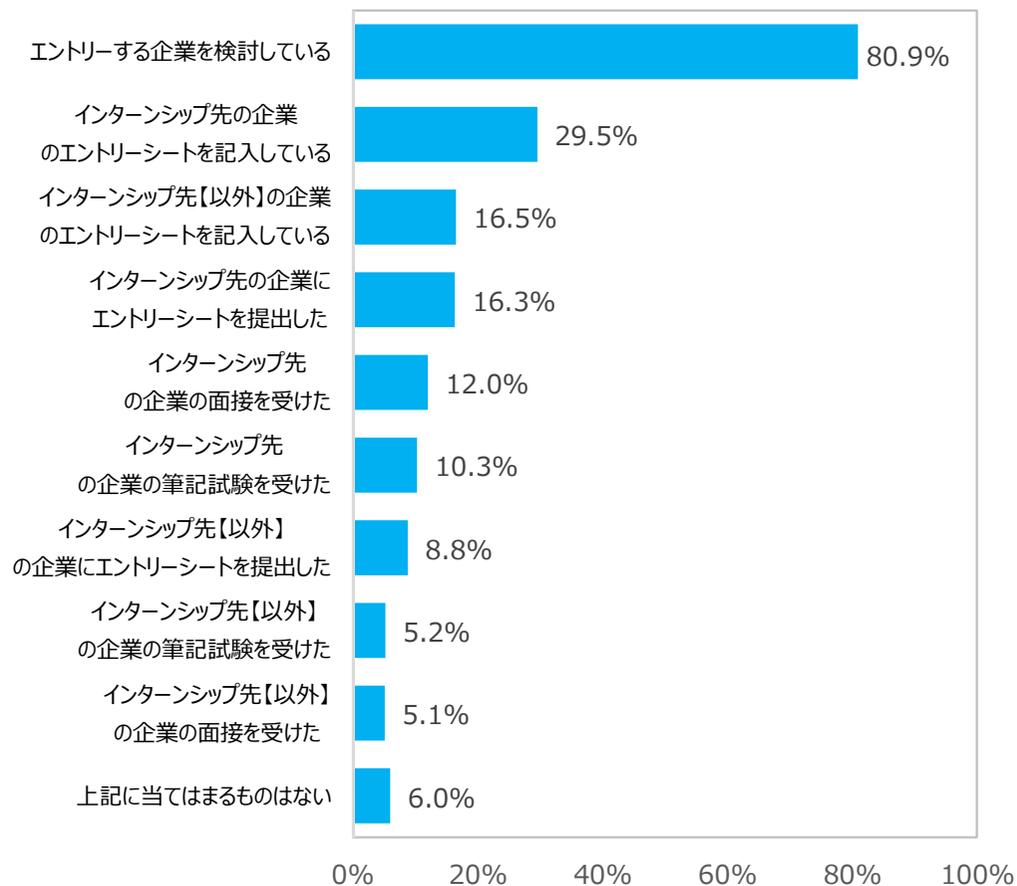


知り得たり、体験した情報を友人や知り合いと積極的に情報交換。2月時点ではこれまでインターンシップやその他の活動を通して得た情報を踏まえた絞り込みを行っている。

## ■ 就職活動の準備としてインターンシップ以外に行ったこと



## ■ 現在の状況について当てはまるもの(複数回答)



出所：2021年卒マイナビ大学生広報活動開始前の活動調査(2月1日～13日実施 n=5,794)

## インターンシップ活動

- ✓ 6月から積極的にインターンシップへの応募を行う
- ✓ 昨年以上に自分の視野を広げるために積極的に活動を行う  
※その影響で学修経験時間へも影響
- ✓ 一人あたりのインターンシップ参加社数は増加（3.6社→4.9社）
- ✓ プログラムの内容や仕事へのマッチングを加味して徐々に応募企業の絞り込み

視野を広げる

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

## インターンシップ以外の活動

- ✓ 魅力的な業界・企業を探すために9月以前から積極的に活動している
- ✓ 知り得たり、体験した情報を友人や知り合いと積極的に情報交換、プログラムの内容や仕事へのマッチングを加味して徐々に応募企業の絞り込み、3月以降に応募する企業の絞り込みを行っている

興味・関心を絞り込む

広報活動解禁

## 学生

インターンシップの  
参加率・参加社数は上昇

売り手市場を背景に  
インターンシップ参加目的は  
「視野を広げる」(情報収集)

インターンシップ以外  
の活動も積極的に行い、  
応募期予定企業を絞り込み

## 企業

インターンシップの実施率は  
年々上昇傾向

インターンシップ開催を早めた企業は  
全体の25%

インターンシップの開催月は  
全月で上昇

# 02

## 3月開始直後の状況

---

**1月31日**

世界保健機関（WHO）は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言

**2月11日**

WHOが新型コロナウイルスの感染による疾患を「COVID-19」と命名

**2月27日**

政府よりスポーツやイベントの中止・延期要請  
3/2～全国小中学校の一斉休校要請

**3月11日**

WHO事務局長はパンデミック相当との認識を表明

**3月13日**

（内閣府）「新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた 2020年度卒業・修了予定者等の 就職・採用活動及び 2019 年度卒業・修了予定等の内定者への 特段の配慮に関する要請について」発表

**4月7日**

安倍総理大臣が東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7つの都府県に緊急事態を宣言

※その後対象エリアは全国へ拡大……

**2月26日****マイナビ 3月イベント中止発表**

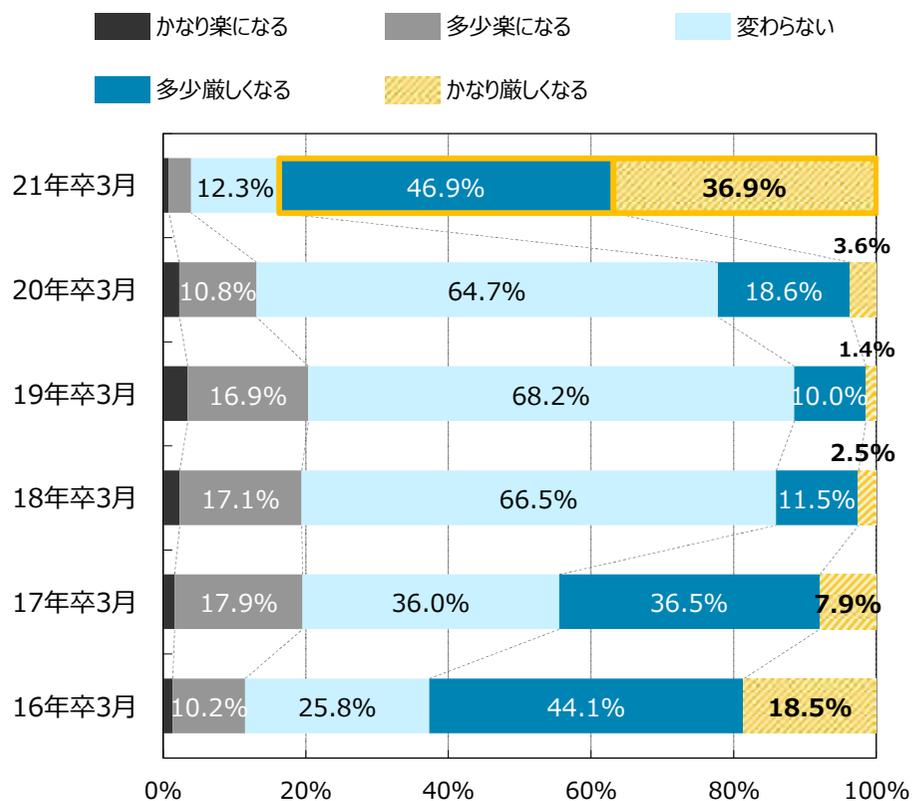
※以降、6月末までのイベント中止を発表済み

以降、一気に在宅ワークや  
WEB化が加速

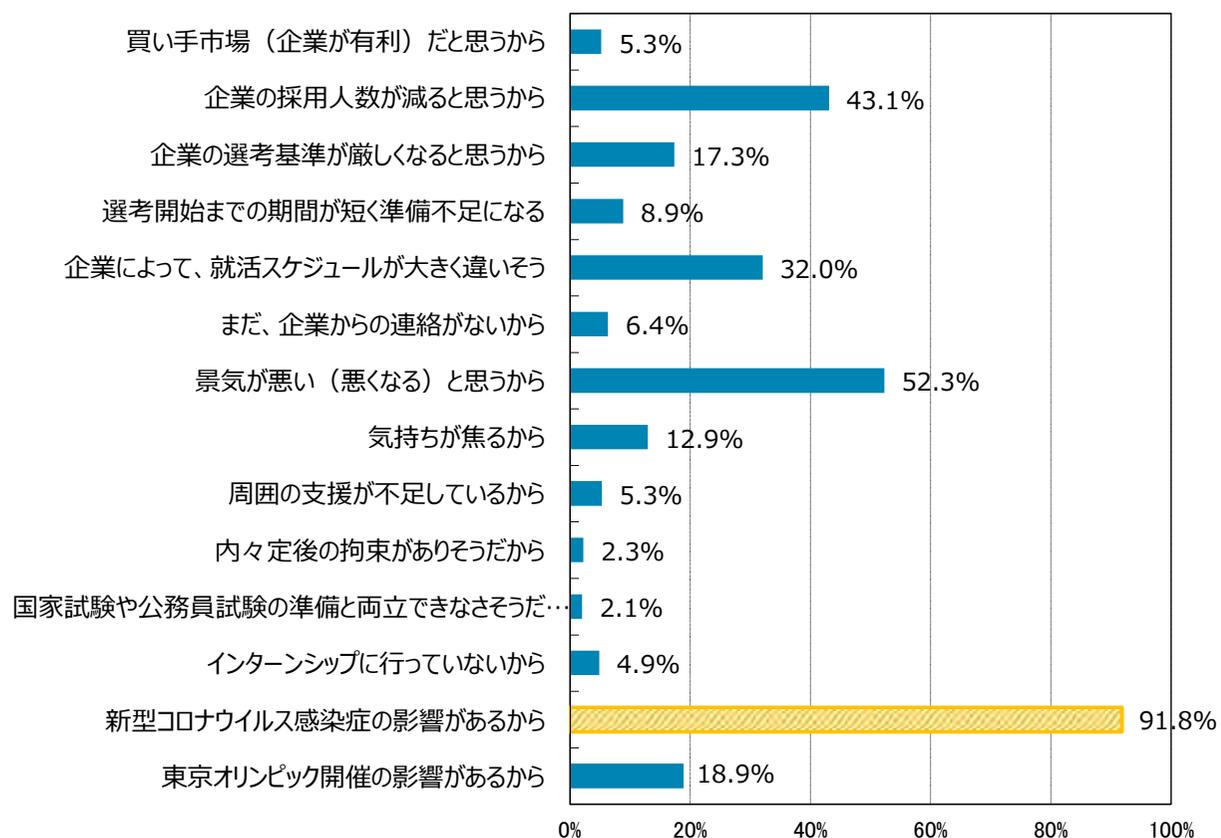
**8割以上の学生が自分たちの就職は「多少厳しくなる」「かなり厳しくなる」と回答（3月末時点）**

**以降も就職活動は継続しているものの、先行きに対する不安は増大する一方という状況。**

## ■先輩と比較して自分たちの就職活動は



## ■厳しくなると思う理由【複数回答】



「3月の活動状況」 出所：2021年卒マイナビ学生就職モニター調査（2020年3月25日～3月31日 n=2,184）

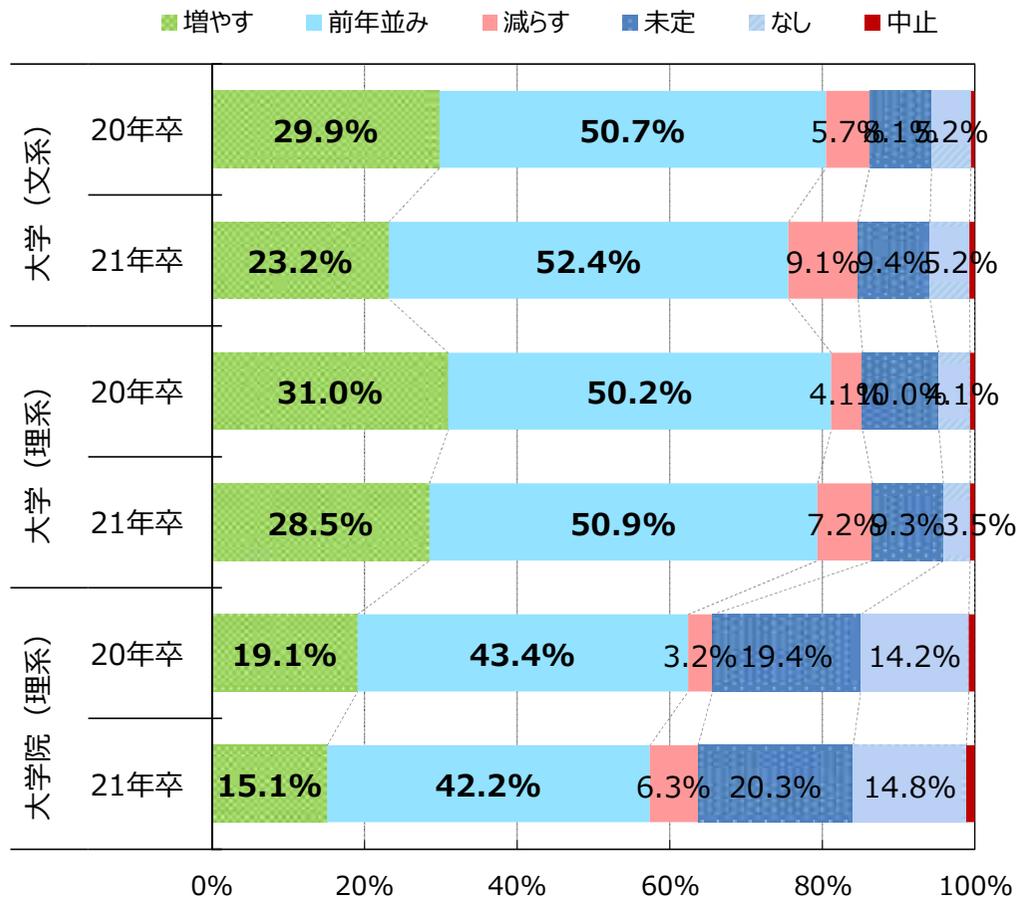
# 企業 新卒の採用意欲（全体）



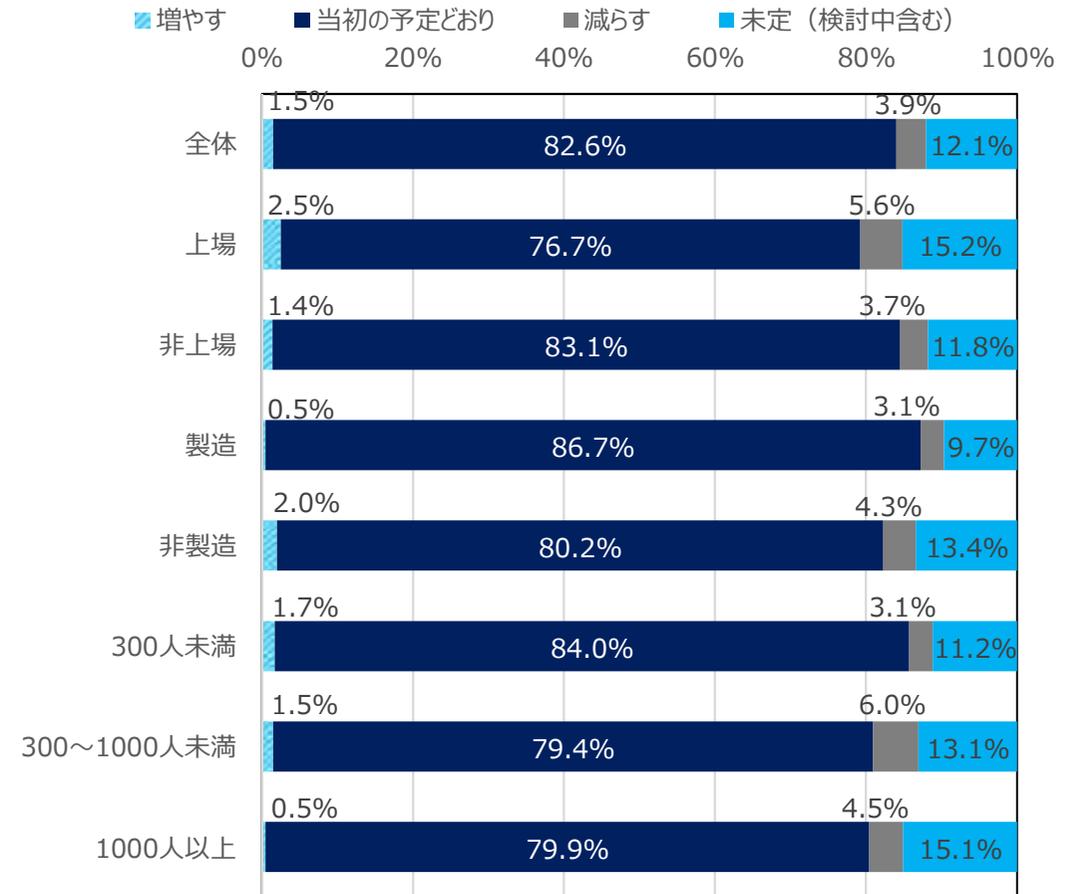
2月時点での採用意欲は、約3割が「増やす」、半数が「昨年並み」と高水準。

4月上旬で調査した結果は「当初の予定どおり」が80%を超える状況。

■採用予定数（4大文理別前年増減比較）



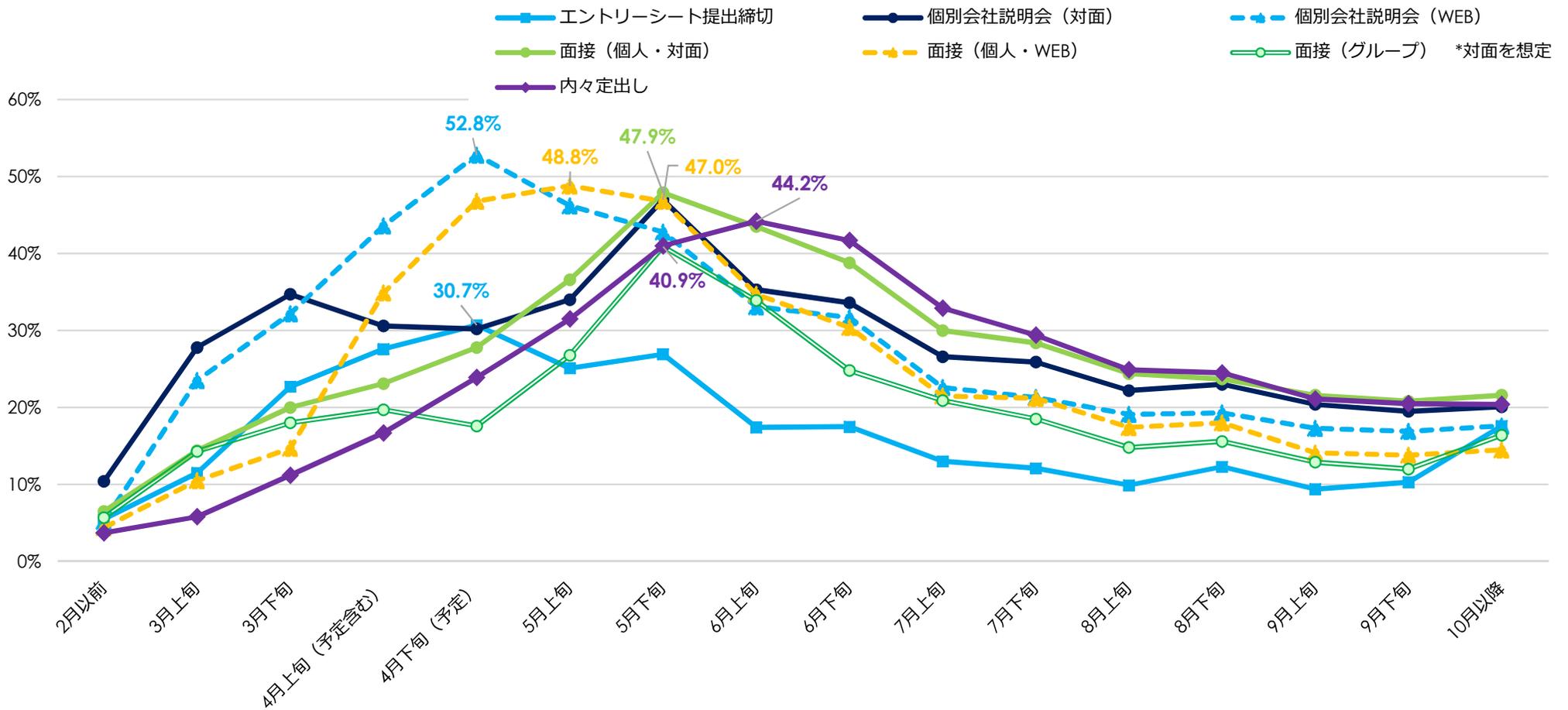
■21年卒採用の採用予定数を当初の予定から変更するか（4月上旬）



「エントリーシート受付開始時期と結果通知開始時期詳細」出所：2021年卒マイナビ企業新卒採用予定調査（2月13日～3月6日実施 n=1,060）  
 <緊急> 2021年卒 企業新卒採用予定調査～新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言発令の影響～（4月9日～13日実施 n=1,926）

対面で実施する「個別企業説明会」「面接（個人/グループ）」は、「5月下旬」実施予定が最多。  
 「内々定出し」は「6月上旬」（44.2%）、「6月下旬」（14.7%）との回答が多い。

■採用活動を行う時期すべて（複数選択）



出所：＜緊急＞ 2021年卒 企業新卒採用予定調査～新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言発令の影響～（4月9日～13日実施 n=1,926）

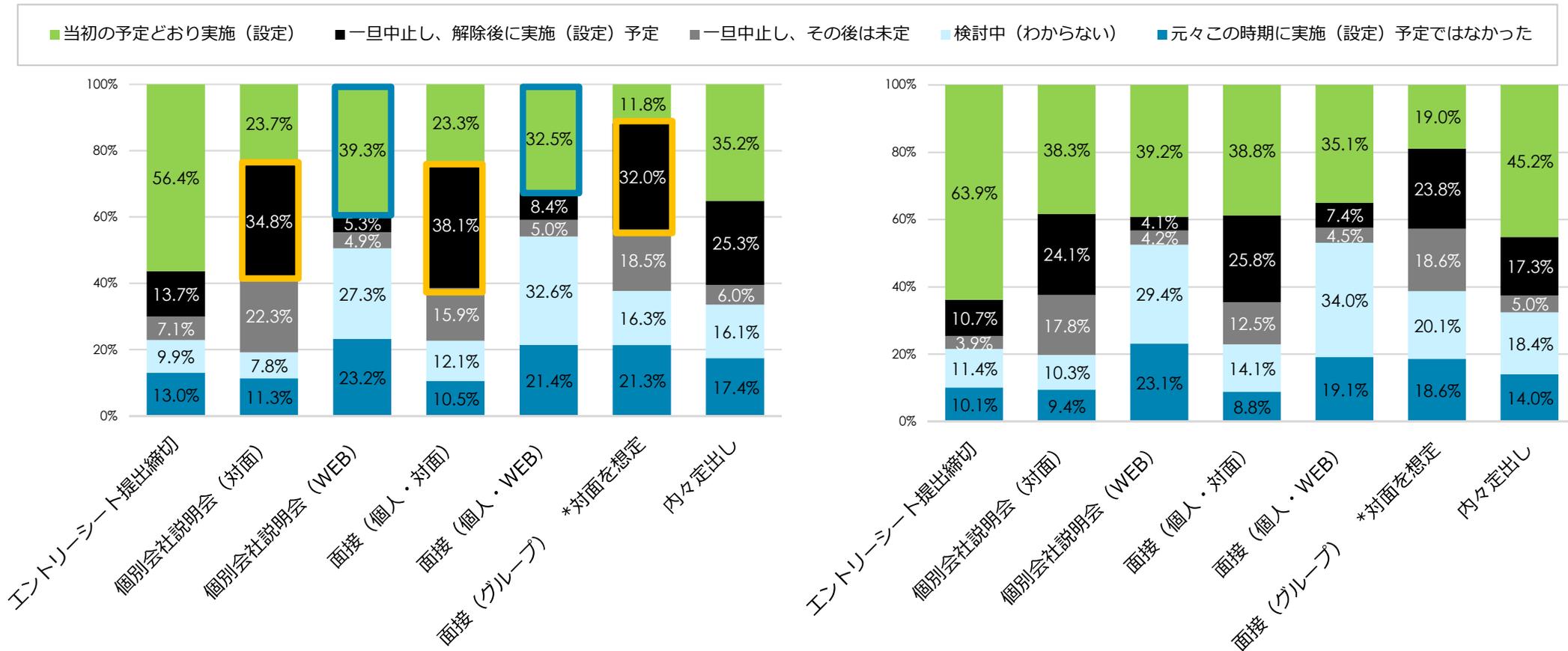
緊急事態宣言後、7都府県を中心に対面型の選考を中止・延期する動きも。

しかし、WEB関連ツールを活用できている企業は当初の予定通りの運用もできている

■政府による「緊急事態宣言」を受けて【4/8～5/6】の間、21年卒の採用活動においてどのように対応するか。

◆7都府県（東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡）での実施

◆7都府県以外での実施

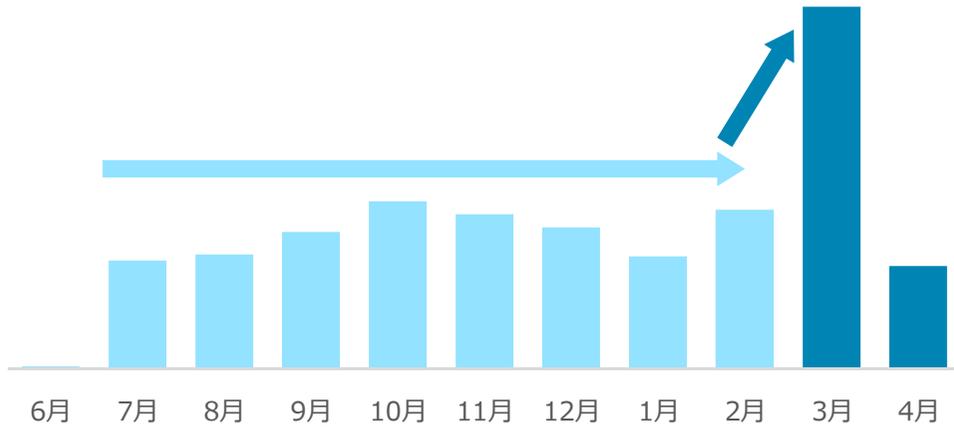


出所：＜緊急＞ 2021年卒 企業新卒採用予定調査～新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言発令の影響～（4月9日～13日実施 n=1,926）

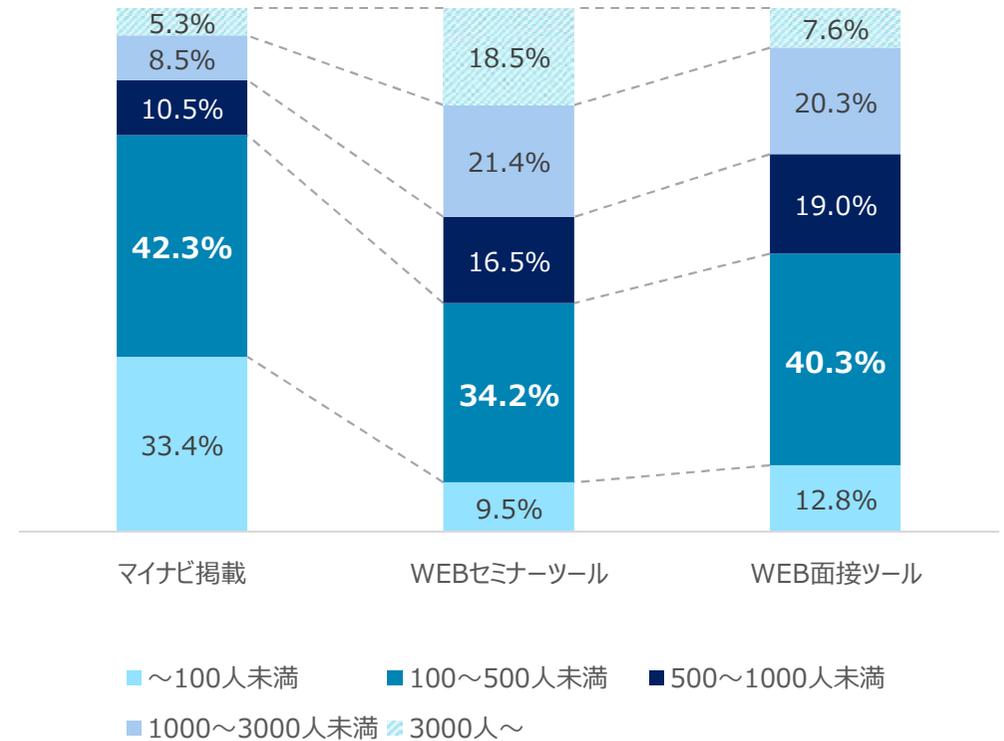
大型イベント中止の影響から、3月は「WEBセミナー」、4月は「WEB面接」が急増。

WEBセミナーは1000人以上、面談ツールは500～3000人規模の企業がボリュームゾーン。

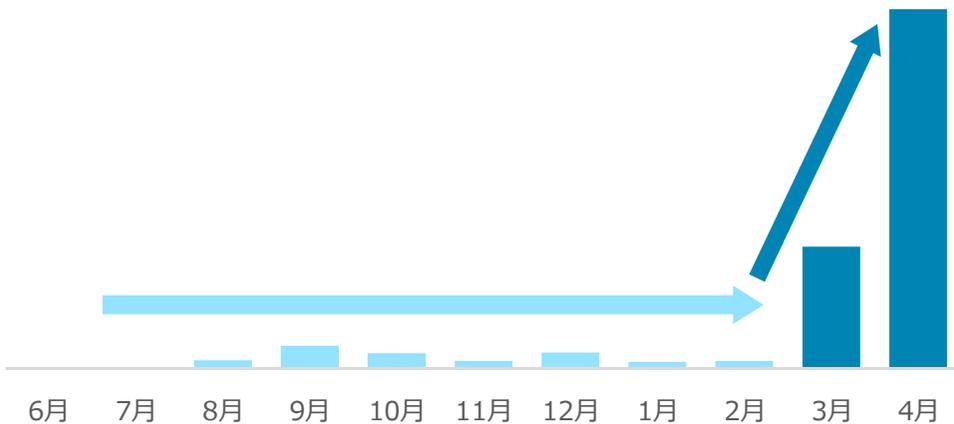
■ WEBセミナーツール 導入推移



■ WEBセミナー/面談ツール 導入企業 従業員規模



■ WEB面談ツール 導入推移

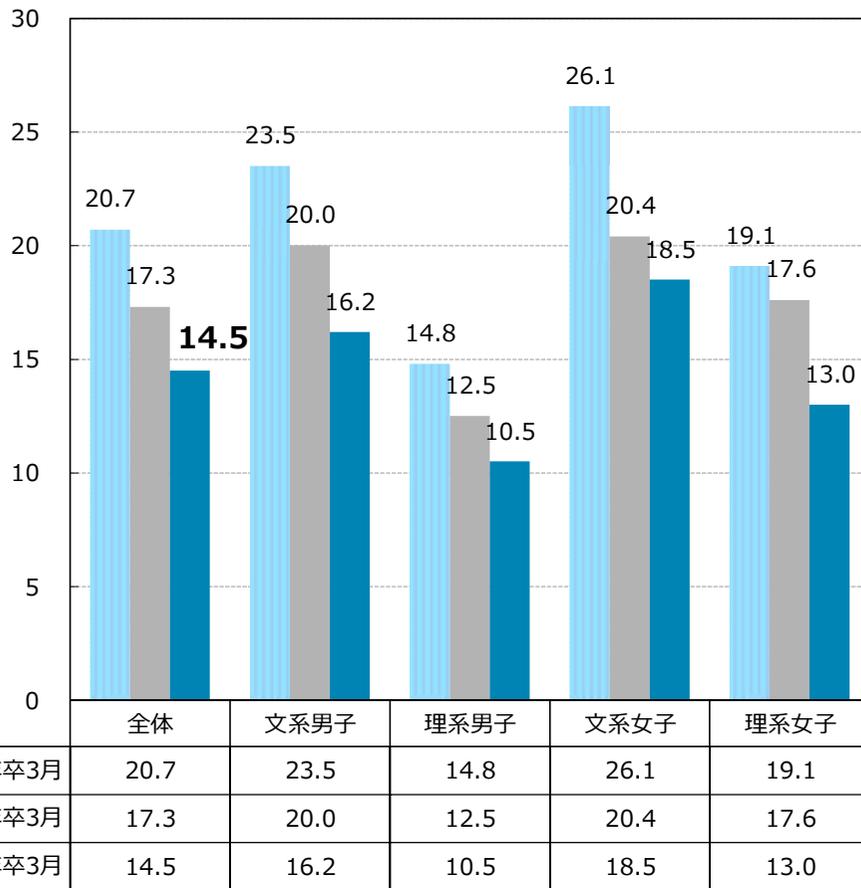


「4/22時点までのWEBセミナーツール導入推移」 出所：マイナビデータ

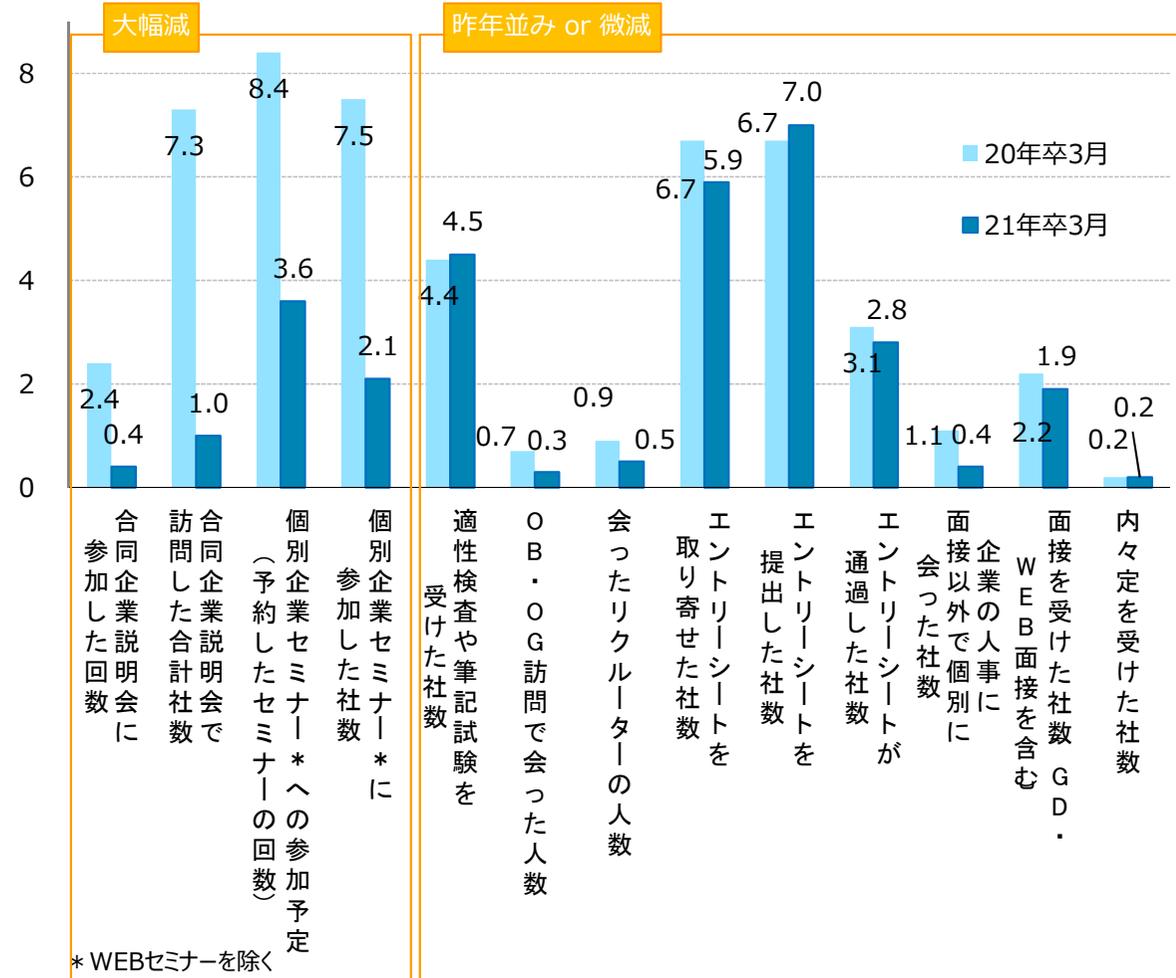
# 学生 モニター調査における学生の活動量

**3月平均エントリーは14.5社に減少。**さらにコロナの影響で、**合同企業説明会・個別企業セミナー**の接触社数も大幅減。エントリーシート提出・面接などの選考は前年並み。

■ 3月平均エントリー社数

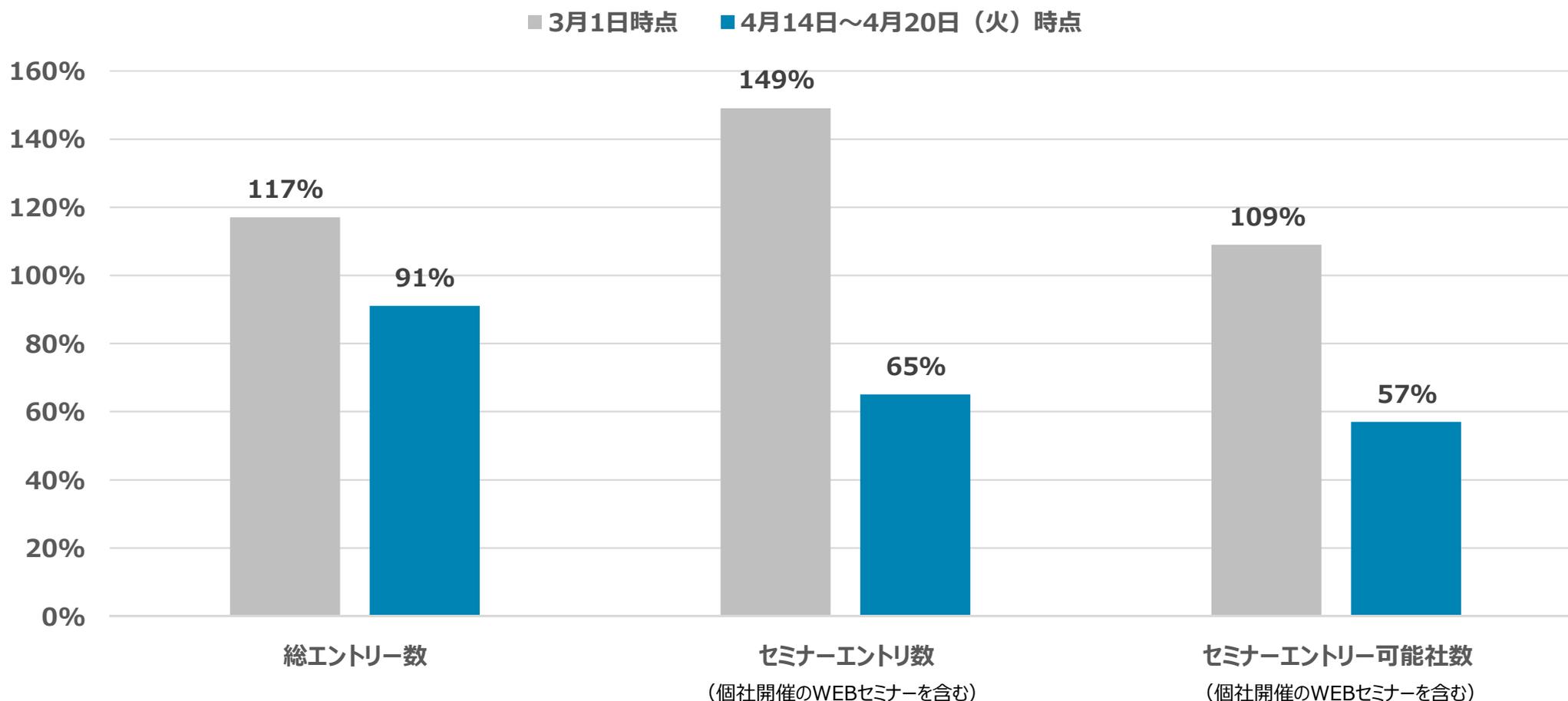


■ 合同説明会、セミナー参加、適性検査、エントリーシート提出…各社数平均



20卒を「1」としたときの、マイナビ2021反応比較。3/1時点ではマイナビ内アクションも非常に活発だったが、緊急事態宣言以降の数値は前年比を割っている。企業・学生共に様子見状況。

■ ①3/1時点 ②4月14日～20日のそれぞれの期間における前年比

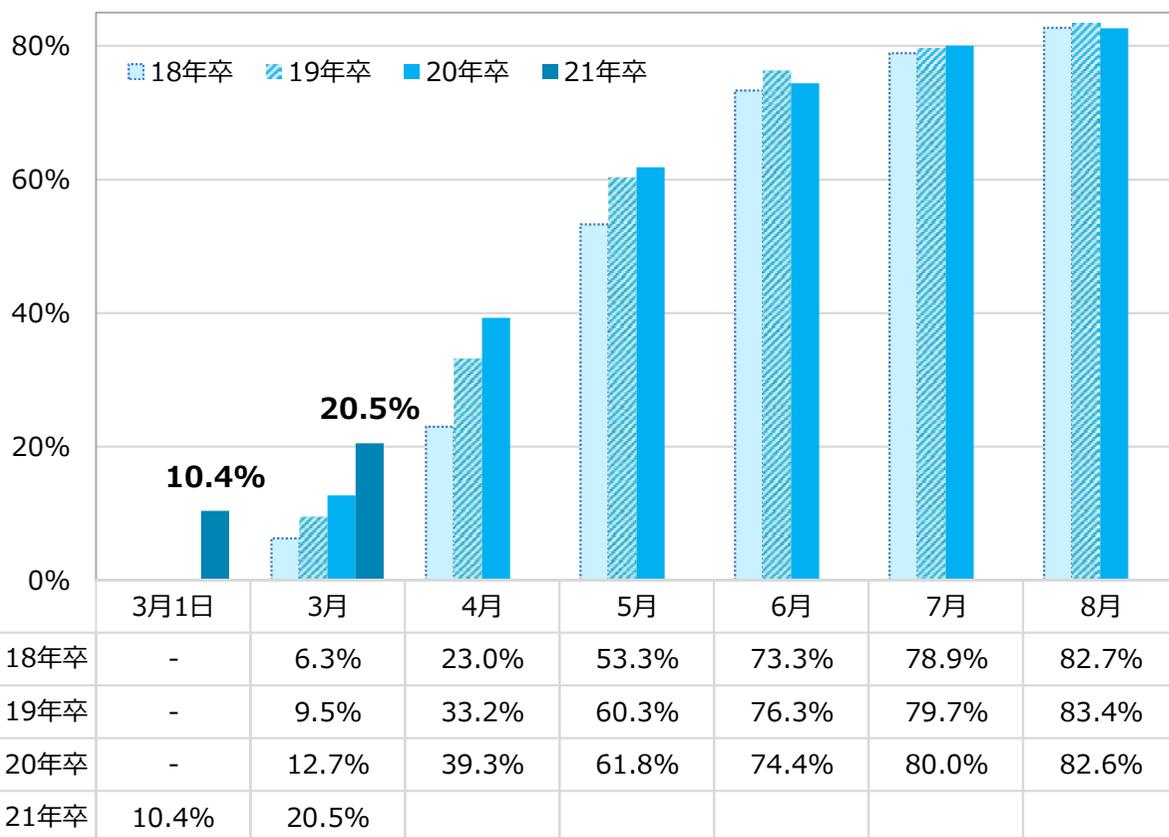


# 学生 3月内々定状況

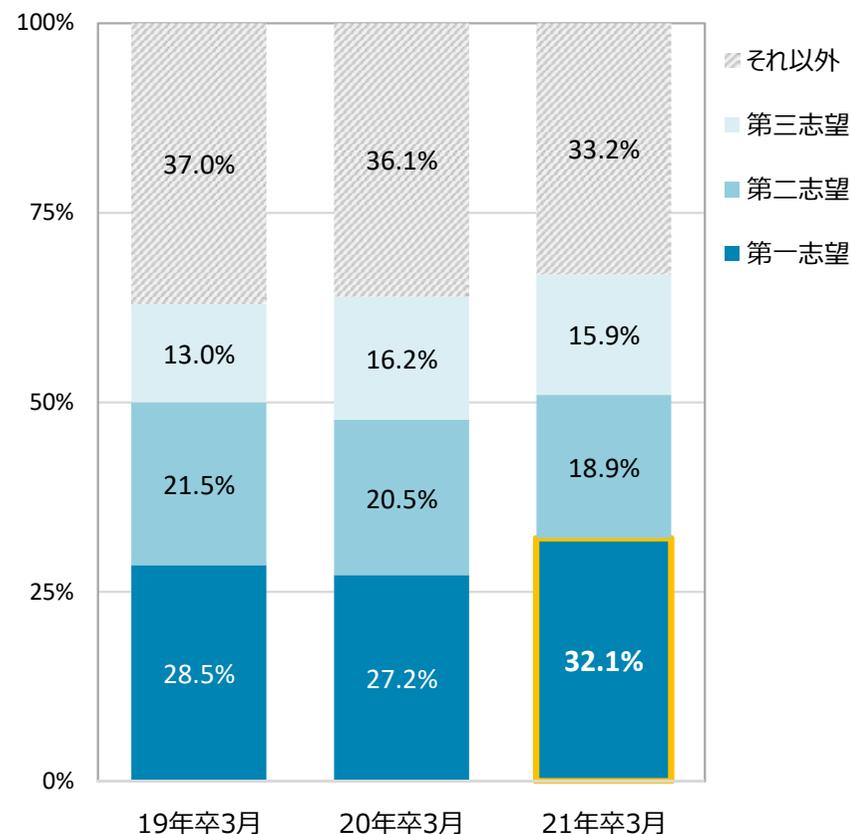


**3月1日時点の内定率は10.4%、3月末時点では20.5%と、昨年比 7.8ptアップ。**  
**活動開始時の第一志望企業は3割を越え、早期マッチングが強まったことが予測される。**

## ■内々定状況



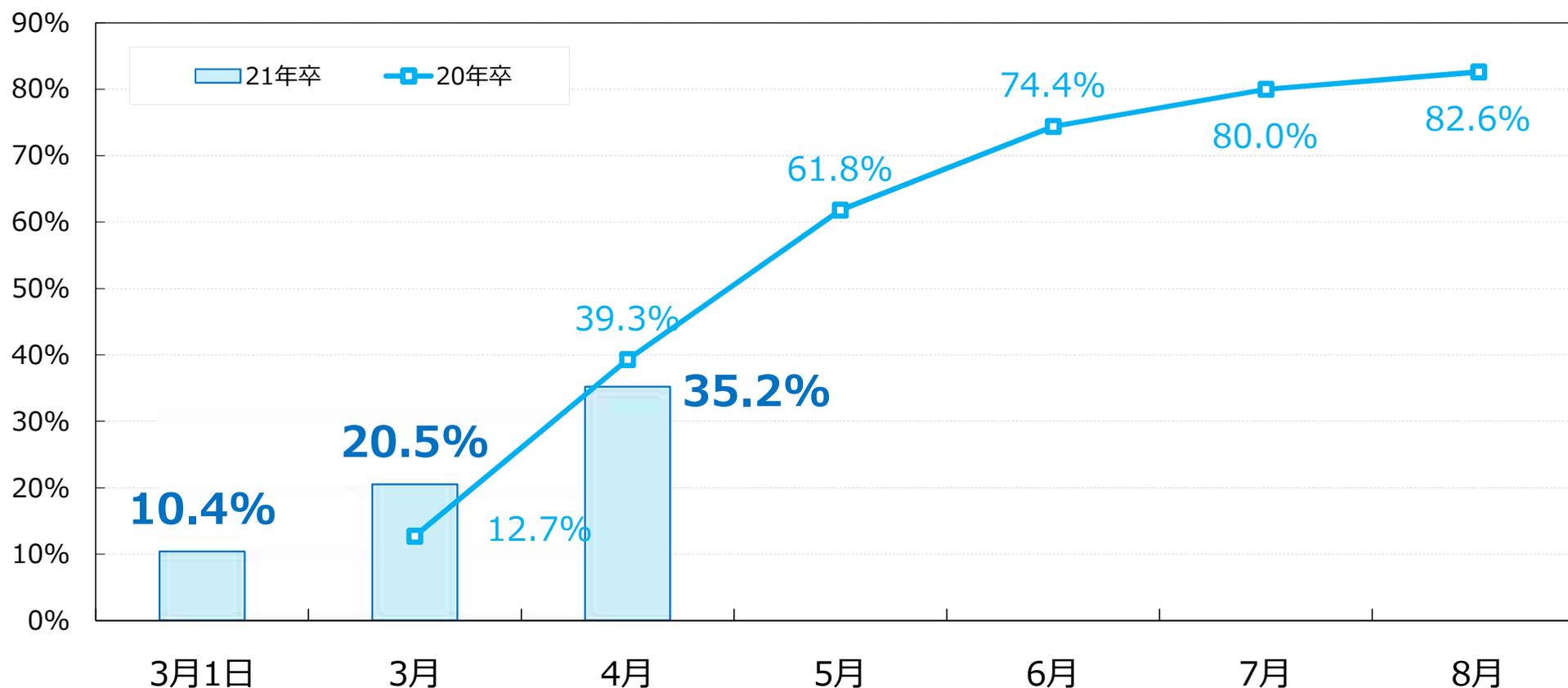
## ■入社意思の最も高い企業の活動開始時点の志望順位



「内々定状況」「内々定を得た企業の活動開始時点の志望順位」出所：2021年卒マイナビ活動実態調査（3月25日～3月31日 n=5,643）

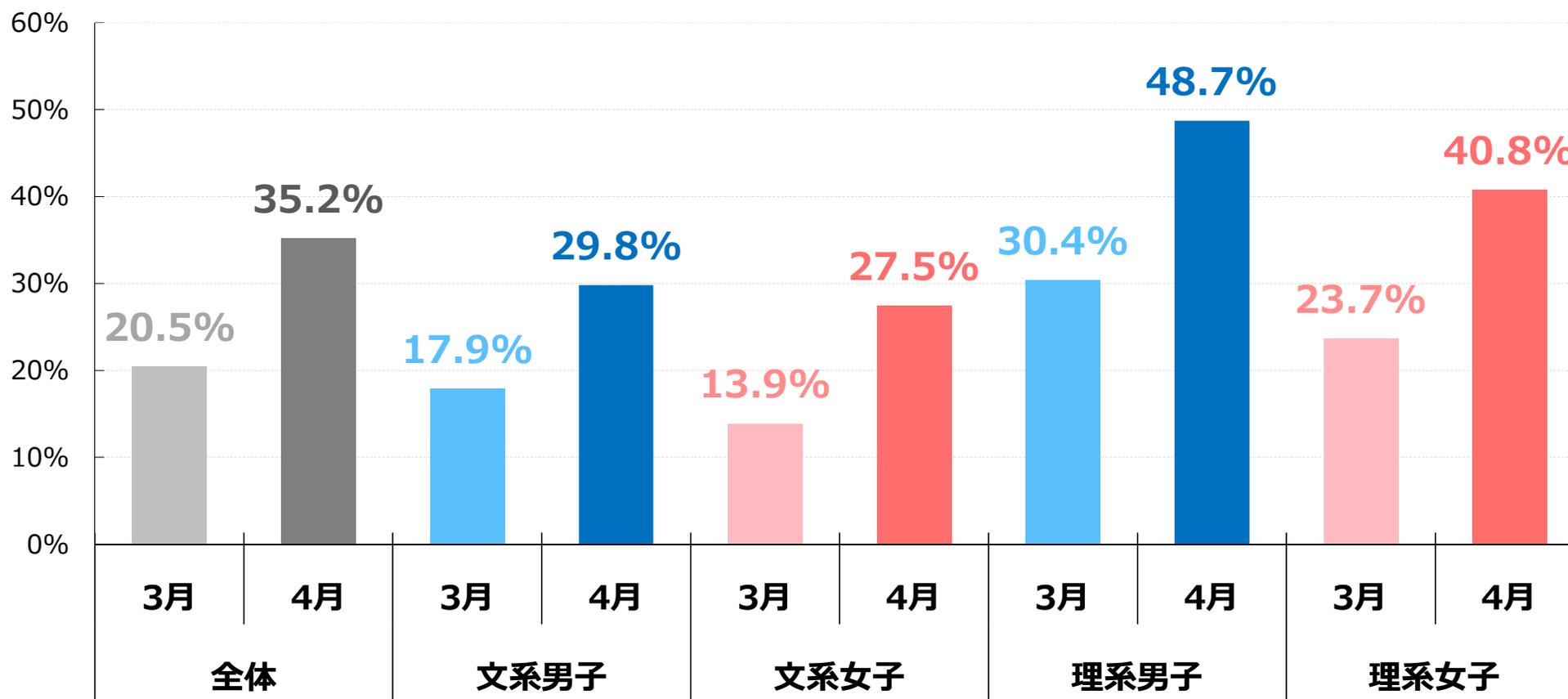
4月末時点で内々定を保有している学生は35.2%  
内々定保有率は昨年同時期より4pt減少

これまでに企業から内々定を受けたか (n=9,478)



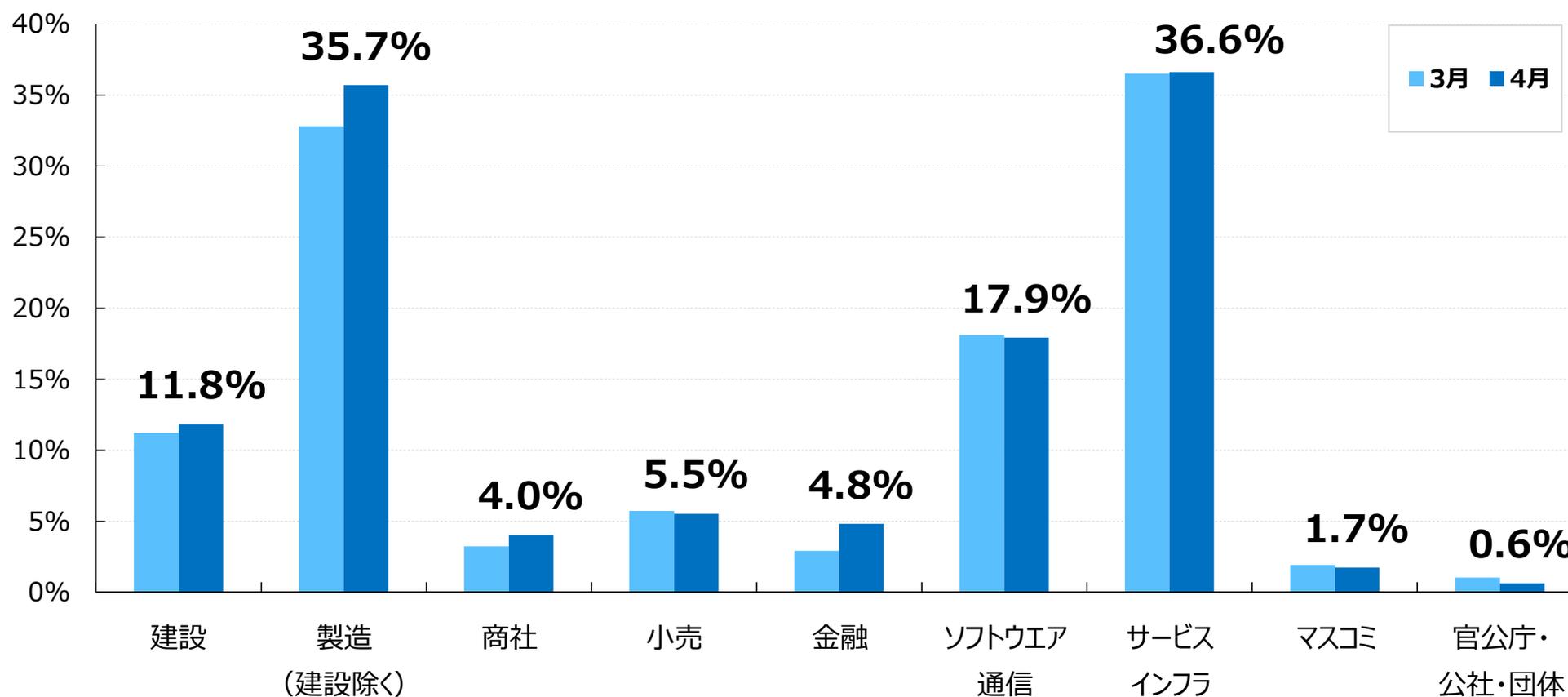
全体では35.2%、理系が高くなっており  
理系男子は48.7%と約半数が内々定を得ていた。

これまでに企業から内々定を受けたか (n=9,478)



サービス・インフラ、製造などが高く35%を超える  
全業種で3月とほとんど同様結果になっている

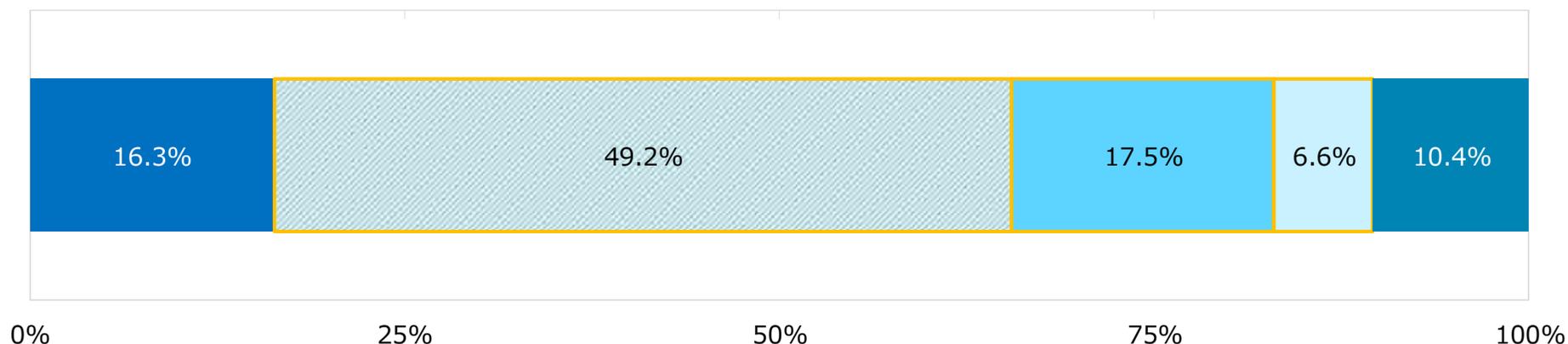
内々定を受けた企業の業種 ※複数回答 (n=3,177)



新型コロナウイルスが就職活動に与える影響に不安を抱える学生は8割超。  
また、説明会のWEB化に抵抗は低いが、面接は「対面」を求めている。

## ■ 就活における「対面」または「WEB」での実施について、考えに一番近いもの

- 全工程（会社説明会～最終面接）WEB化してもかまわない
- ☑ 会社説明会はWEB化してもいいが、1次面接以降は対面での実施が望ましい
- 会社説明会～1次面接まではWEB化してもいいが、2次面接以降は対面が望ましい
- 会社説明会～最終面接前まではWEB化してもいいが、最終面接は対面が望ましい
- 全工程（会社説明会～最終面接）対面での実施が望ましい



「就活における「対面」または「WEB」での実施について、考えに一番近いもの」  
出所：マイナビ2021年卒大学生 新型コロナウイルス感染拡大に対する就職活動実態調査

## 学生

新型コロナウイルスの影響で  
就職活動に対して不安な状況

活動量は  
①プレ期間の絞り込み  
②企業様との接触機会減少  
を受けて減少傾向

面接についてはWeb  
ではなく対面を求める

## 企業

採用予定数は  
当初の予定通りが8割以上  
※現段階

選考活動については  
徐々に後ろ倒しの傾向

WEBセミナー／WEB面談への対応が  
急速に進んでいる

### ■ 新型コロナウイルス感染リスクに関する懸念

- ・1次・2次面接、最終選考すべて対面の個人面接のため「3密」での実施を懸念。**学生も面接を予定通り実施するとなれば行かざる得なくなる事が不憫**でありませぬ。(メーカー、大阪府)
- ・学生の移動中の感染。または、面接が原因による感染が発生した際の対応。この危険があるので、積極的に対面でのコミュニケーションが取れない状況が、相互に齟齬が生じていないかは懸念。(サービス、東京都)
- ・学生の新型コロナウイルス感染症への感染リスク、新型コロナウイルス感染症の影響による学生の移動制限、来社に伴う学生・両親の不安感。(金融、愛知県)
- ・感染防止環境づくりに苦慮。また、**この時期に学生さん達に来社頂く事自体に、社の姿勢を疑問視されることを懸念**します。(メーカー、栃木県)
- ・感染防止を優先したいが、良い人材を取りたい企業側が、採用活動を無理に進め、クラスターが発生した場合、大学の長期閉鎖を助長することに成り大きな損害となる可能性がある。採用全体の活動を一旦制限した対応が必要かもしれない。(ソフトウェア・通信、沖縄県)

### ■ 母集団に関する懸念

- ・合説や会社説明会が中止になり、母集団形成ができない。(商社、東京都)
- ・コロナウイルスの影響で、就活生に会う機会が全く無い状態です。合同企業説明会や学内説明会も全て中止になっており、WEB面接等の準備もしていなかったため、どうやって選考の応募母数を確保したら良いのか悩んでおります。(サービス・インフラ、埼玉県)
- ・学生の企業研究が進まず、入社後のミスマッチが起こるのではないかと懸念。合同企業説明会等のイベントが中止となったことで**中小企業がアピールできる場が減っており、学生の視線が大企業に向けてしまっているのではないかと懸念**(メーカー、新潟県)
- ・**母集団が例年より少ない**。最終面接(対面)を実施することができない。在宅勤務により、採用担当同士のコミュニケーションがとりにくい。(メーカー、東京都)

### ■ 接触機会の減少に関する懸念

- ・**学生へアピールできる機会がほとんどない**。(サービス、長野県)
- ・WEB説明会・WEB選考会を実施するが、直接会わないまま内定出しとなるため、きちんと両者の納得のいく採用活動ができるかどうか。直接会わないまま内定を出しても、内定辞退率が高い気がする。(ソフトウェア・通信、佐賀県)
- ・説明会から最終面接、内々定までWEBで完結している学生がいるため、直接のコミュニケーションが取れていない。**内々定後のフォロー。対面での個人面談が全てリステ状態で、収束時期も不透明なため、明確な代替日程が学生に提示してあげられない**。(小売、愛知県)
- ・採用スケジュールにばらつきができるため、**学生の意思決定が難しくなる**。工場見学や先輩社員との懇親ができないため、動機付けや企業理解が弱い(メーカー、大阪府)
- ・面接は重要な選考なのでそれができなくなる場合、**必要とする人材を見抜けるか懸念**。選考のステップで、地方の求職者が東京に出てこられるか懸念。(マスコミ、東京都)
- ・いつ事態が終息し、例年通りの採用活動ができるか。活動を中断している間に、採用を実施している企業から内定をもらった学生が活動を終了してしまうこと(金融、福岡県)
- ・一度も会社を直に見ることなく、内々定を出すことで生じる、学生の仕事に対するイメージのギャップをどこで埋めるか。(メーカー、長野県)

### ■ 内定辞退に関する懸念

- ・大手企業のスケジュールが後ろ倒しになり、内定辞退が増えること（メーカー、茨城県）
- ・学生さんが他社への活動も十分できていない状況で当社の内定を承諾してくれたとしても、内定辞退や、入社後のアンマッチ・退社につながるのではと懸念あります。（ソフトウェア・通信、東京都）
- ・採用活動の遅れによる22卒への影響（メーカー、愛知県）

### ■ 先が見えない不安

- ・学生の動きが予測できないこと。また、**学生の抱えている不安を払拭したいが、私たちが先が見えずどのように対応したらよいかわからない。**（商社、大阪府）
- ・採用面接を再開するタイミングが不透明であること。その間に学生の志望度が下がってしまう恐れがあること。また、**学生の中には対面での面接とオンライン面接を希望する方が混在しており、両者ともに同じタイミングで面接を実施できるようになるには時間がかかること。**（メーカー、東京都）
- ・現在は在宅勤務で採用業務を行なっているが、書類選考の可否出しの準備が予定通り進むかどうか。GW明け頃から面接を始めたいが、自粛要請がいつまで続くのか。また、自粛が解除されてたとし学生が東京まで面接に来るかどうか（マスコミ、東京都）
- ・5月6日以降の来社面接が可能になるのか、また内々定を出した学生が他社の選考の状況によって想定できないタイミングでの辞退が発生するのではないか（**辞退後の採用活動で間に合うのか**）（メーカー、大阪府）
- ・学生の動き、他社の動きが見えづらく、採用計画の再設定が難しい。コロナの終息によると思うが、先が見えないことにより学生に案内しづらく、学生がどのように思っているのかが不明なこと。（メーカー、京都府）

### ■ マンパワーや採用スケジュールに関する懸念

- ・採用担当者が私一人の為、コロナで移動が制限され本社所在地以外の遠地で企業説明を実施することができず、本社以外の拠点で採用目標数に達成できるかどうか。（ソフトウェア・通信、大阪府）
- ・コロナウイルスの感染拡大が夏まで続いた場合の採用スケジュールの組み直しや内定式と採用活動の同時進行に対するマンパワー不足。（メーカー、埼玉県）
- ・スケジュールが全体的に後ろ倒しになってしまうこと。就活が長期化することで冬以降の内定辞退者が増加すること。**21卒の採用と22年卒のインターンシップが時期的に完全に重複してしまうこと**（商社、宮城県）

## Key Word

- ・ **接触機会の減少**
- ・ **新規広報機会の減少**
- ・ **WEB移行への対応**
- ・ **理解不足・グリップ不足**
- ・ **内定辞退への懸念**
- ・ **スケジュールの遅れ**
- ・ **22年卒インターンシップとの時期重複**

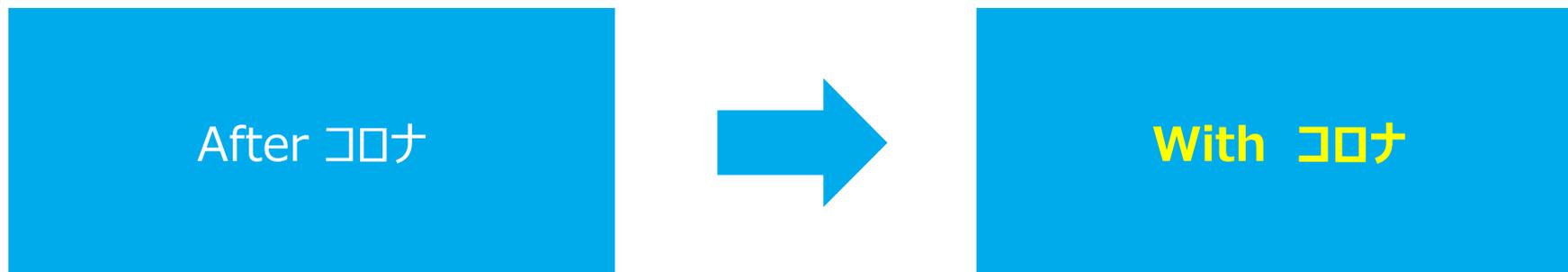


# 03

## 今後の見通しと対策

---

今後の新型コロナウイルス感染症による社会生活や就職・採用活動への影響は先行き不透明



をベースとした活動を検討する必要がある。

**学生や企業側への最大限の健康配慮を前提とし、積極的な活用が期待される、  
Web関連ツールを活用して学生とのコミュニケーションを図る事が必要条件。  
メリット・デメリットや活用法を理解しながら採用活動を進めていかなければならない**

## 採用活動におけるポイント

積極的な情報開示

WEB説明会・選考

内定者フォロー

### ■ 迅速な情報伝達

- ・会社説明会の中止や延期、選考時にマスク着用が認められるかなど、**採用ホームページなどで迅速に情報公開してほしい。**
- ・地方学生は、航空券等、金銭的負担が大きいことを考慮してほしい。
- ・**エントリーシートの〆切の延長や、秋採用枠の開示など、選考のスケジュールを可視化するなど、スケジュールへの配慮をしてほしい。**

### ■ 限りなくリアルに近い企業理解の場の提供

- ・リアルな説明会から知ることができる、会社の雰囲気や社員の方との質疑応答を通じたやり取りができないことがとても残念。
- ・**合同企業説明会の中止により、中小企業を知る機会や、企業の雰囲気・社員の雰囲気を知る機会が失われてしまった。**
- ・社員の雰囲気や社風は、WEBでは分かりにくい。WEB座談会や1対1のWEB面談、**多くの社員を知る機会などを提供してほしい。**また、学生からOB・OG以外への社員訪問の申し出等があったら、対応いただけたらありがたい。
- ・合同企業説明会の中止により、企業理解の手段が制限された分、手探りで社員の雰囲気などの生の情報を入手しなければならない状況。

### ■ WEB説明会の際に配慮

- ・Webセミナーの規模を大きくしてほしい。会社説明会がwebになってしまい、さらに参加者が集中して解禁前から満員で参加したい企業に参加することができない。
- ・WebセミナーやWeb面接もいいと思うが、分かりやすく今まで通り『何日の何時に』というものを明確にして欲しい。合同説明会が中止になったので、Webセミナーでもどこに何があるのかをわかりやすくしてほしい。

### ■ 感染症対策への配慮

- ・WEB説明会は、社員の雰囲気が分からないというデメリットはあるものの、集団感染のリスク回避や地方学生の交通費負担の軽減という面でとても有難い。
- ・GDや集団面接は、待ち時間含めて大人数との接触を避けることができないため不安。
- ・面接時、マスクの着用を許可してほしい。また、**マスクを入手できない学生への配慮をしてもらえるとありがたい。**

### ■ 対面面接の機会設定

- ・**面接で学生側も社員の雰囲気を確かめたい。**熱意など、どうしてもWEBでは伝えにくい。
- ・WEB説明会やWEB面談はこの状況下ではありがたいが、WEBカメラ購入など、金銭的負担になってしまっている。採用担当の方には、**学生にも整えられる環境で安全に受けられるように配慮していただけたらありがたい。**
- ・Webでの面接はしたくないです。パソコンのカメラは上についていて画面を見ながら話すどうしても視線が合わず、とても話しにくいからです。

### ■ 選考期間への配慮

- ・**インターンシップに参加できなかった人やこれから企業理解をしようとしている人には厳しい就職活動になるのではないかと不安。****企業理解の機会がほしい。**
- ・インターンシップに参加した企業数社の中から、将来を決めることになってしまうのは不安。
- ・2～4月のインターン・イベント等が中止になっている分、**選考期間を延ばしてほしい。**

現状学生は下記項目における情報が不足している

- ①採用活動の**実施有無**に関する情報
- ②採用活動の**スケジュール**に関する情報
- ③採用活動の**ステップ・手段**に関する情報

上記に関する情報を各種のアプローチ手段において積極的かつタイムリーに発信しておく事が重要。

採用HP

エントリー者へのメール

就職サイト掲載情報

...

【参考】マイナビ2021内特設ページ



### コロナウイルスへの対応企業一覧

掲載各社における説明会の開催状況や応募・エントリーシートの締め切り状況・感染防止策・今後の採用予定などについて、マイナビ上で企業情報として情報を公開している企業を紹介

### 応募・エントリーシートの締め切り・エントリー対策情報

4月～7月の各月ごとに、応募やエントリーシートの締め切りを設けている企業を紹介

### 就職イベントに関する情報

今後の就職イベントの開催予定、開催中止となった企業からの情報を発信

メリット

デメリット

要望

## WEB説明会やWEB面談はこの状況下ではありがたい

地方学生の**交通費負担の軽減**という面でとても助かる

普段なかなか確認できない企業の方の臨機応変な対応を知ることができている。

**社員の健康と家族の安全を第一に、学生へも配慮をしてくださっている企業の方の印象はとても良い。**

WEBセミナーでも今まで通り分かりやすく『**何日の何時に**』というものを明確にして欲しい。

Web面接はしたくない。パソコンのカメラは上について画面を見ながら話すとどうしても**視線が合わず**、とても話しにくい

社員の雰囲気や社風は、WEBでは分かりにくい。**WEB座談会や1対1のWEB面談、多くの社員を知る機会などを提供してほしい。**また、学生からOB・OG以外への社員訪問の申し出等があったときに、対応いただきたい。

## 学生側も社員の雰囲気を確かめたい。

質疑応答の時間を設けていただきたいです。また、会社の雰囲気が気になるため、**社員の方々の様子が少しでも分かるよう複数の社員さんが説明会に参加していただくと嬉しい。**

WEBカメラ購入など、金銭的負担になってしまっている。採用担当の方には、**学生にも整えられる環境で安全に受けられるように配慮していただけたら嬉しい。**

## メリット

## ✓ 移動がない

外出禁止要請に対応するために重要な施策。  
また、学生側の経済的負担、時間的な制約が軽減される  
メリットも。

## ✓ 時間を限定しない（録画型WEBセミナーの場合）

外出禁止に対応可能であり、現在の状況に対応可能。  
また、学生側の経済的負担、時間的な制約が軽減される。

## ✓ 場所を限定しない

学生／社員、ともに場所を限定しない。通常であればアテ  
ンドが難しい社員に依頼することも可能に（海外／研究所  
勤務者など）。

## デメリット

## ✓ 対面より会話が難しい

通信のタイムラグがあるため対面よりも会話が難しくなる。  
またWEBセミナーの場合は一方通行になり相手の反応が見え  
ない。

## ✓ 「熱意」「空気」が伝わりにくい

全身が見えないため、表情以外の声量や全身などから伝わる  
雰囲気・空気を、お互いにキャッチすることが難しい。

## ✓ 企業側の「雰囲気」が分からない

企業の面談者・登壇者以外の情報を得ることができない。複  
数の社員や社内の雰囲気を感じる機会がなく社風が伝わりづ  
らい。

## WEB説明会・面接の効果を最大化するためのポイント

多様な面接官による  
複眼チェック

適性ツールを活用した  
パーソナリティの可視化

相互コミュニケーション



## 接続環境の事前確認

使用するツールごとに推奨環境が異なります。接続環境のテストは学生・企業双方にて必ず事前に実施しましょう。  
(対応デバイス／対応ブラウザ／アプリインストール有無／平均通信容量／カメラ・マイクの動作確認…等)

特に、学生側の通信環境が悪いことが多いため、事前の確認が非常に重要となります。



## 通信量により面談のレーン数を調整

会社によって通信負荷の容量が異なります。面接数が多い場合は、システム担当部署と事前に確認を行い、無理のない容量での面接レーン数を設定してください。

## ライティング（明るさの確保）とイヤホンを準備！

通常の会議室のでは多くの場合、顔が暗く写ります。悪い印象を与えないようライトの準備、または自然光の入る会議室の利用をおすすめします。（デスク上に白いコピー用紙を置くだけでも、明るく映るようになります！）

また、PCのスピーカーでは音が聞き取りづらく、声も届きづらくなりがちのため、マイク付イヤホンが便利です。



## 5分前から接続

通信トラブル等で開始時間が遅れるケースは少なくありません。早めに接続して学生を迎えましょう。

## 話すタイミング

会話のタイムラグが発生します。通常のテンポで話をするとうまく相手と声がかぶってしまい、話が進みづらいことも。自分が話し終わったら、「●●さん、いかがですか？」とバトンを渡したり、どうしても割り込んで質問が必要な場合は、画面上で手を上げて「ちょっとよろしいですか？」とお伝えするとスムーズに進みます。



## 服装を伝えておく

学生に服装のご案内を必ずお願いします。安心して面接に臨んでもらえる準備をしましょう。

2021卒採用 まとめ	学生	<ul style="list-style-type: none"><li>●【3月以前】早期から積極的に活動し、幅広く情報収集を行い、3月前までにある程度自分の興味・関心を絞り込み</li><li>●【3月以降】新型コロナウイルスの影響により、就職活動に対する不安が大きくなる。内定を持っている学生も一部いるが、まだまだ就職活動はこれからという状況。</li></ul>
	企業	<ul style="list-style-type: none"><li>●採用活動のスケジュールは徐々に後ろ倒し。</li><li>●大手企業を中心とした一部企業はWebセミナー・面接を活用し、当初のスケジュール通りで進行</li><li>●満足度の高い採用活動を行うにはWebセミナー・面接の有効活用が必須</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>✓ <b>WEB化への対応が学生、企業ともに求められる</b></li><li>✓ <b>企業側は今後の採用活動における予定を積極的に配信することが重要</b></li></ul></div>
2022卒採用 予測	学生	<ul style="list-style-type: none"><li>●4月以降、未だ登校できていない学生が多数</li><li>●就職活動と同様に今後のインターンシップ活動においても不安を抱える学生が多いと予想</li></ul>
	企業	<ul style="list-style-type: none"><li>●マイナビ2022 6/1時点のインターンシップ掲載予定企業は前年を上回る見込み</li><li>●長期の学生を自社に呼ぶようなインターンシップの実施可否は未だ不透明</li></ul>

**今後、特に重要になるのは、状況に対する迅速な対応と「多様な通信手段」「多様な機会」「多様な接点」の準備。**